Rinnai

取 扱 説 明 書

このたびは、ガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

この取扱説明書には、ガスふろ給湯器を安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

保証書は裏表紙にあります。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

RUF series

ガスふろ給湯器
（壁貫通型）

RUF-HE160A シリーズ
RUF-HE80SA シリーズ

この取扱説明書の 03 ページをご覧になり、ご使用の製品の品名をお確かめください。

5102204000 SB-25-y
51022040

はじめに

リモコンの取扱説明書もご覧ください

給湯したり、湯はりしたりなど、本機器の操作をするにはリモコンが必要です。リモコンの操作説明は、リモコンの取扱説明書に記載していますので、あわせてご覧ください。

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。使い方が分からなくなったときは、02 ページの「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書で使用する絵表示について

参照ページ
参照箇所

▶▶しくみ　仕組みの説明

ヒント　使いかたのヒント

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、04 ページを参照してください。

本書の構成

本書は、以下の 6 つの項目から構成されています。

- **あんしん点検について**
  …… あんしん点検に関する情報を記載しています。
- **安全のための注意**
  …… 本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。
- **初めて使うとき**
  …… 最初にお使いになる際にしていただきたい内容を記載しています。
- **各部のなまえとはたらき**
  …… 機器本体およびシャワー金具などの各部のなまえと機能を記載しています。
- **メンテナンス＆サービス**
  …… 凍結予防の方法や日常のお手入れ方法および、機器の症状別の対処法や故障表示について記載しています。アフターサービスを依頼される場合も、まずはここをお読みください。
- **仕様・用語集**
  …… 本製品の仕様や本書に使われている用語の説明などを記載してます。

付属品：
- 取扱説明書（本書）
- 浴室リモコン
  BC-223VN-HOL
- リモコン取扱説明書

※ 浴室リモコン BC-223VN-HOL とリモコン取扱説明書は、AK タイプと ACK タイプにのみ付属。

別売品：
- 浴室リモコン
  BC-223VN-HOL
- 浴室台所リモコンセット
  MBC-220V(A)-HOL

※ 浴室台所リモコンセット MBC-220V(A)-HOL は、AK タイプと ACK タイプには設置できません。

もくじ

はじめに …… **01**

もくじ …… **02**

品名 …… **03**

安全のための注意 …… **04**

あんしん点検に関するお願い …… **13**

各部のなまえとはたらき …… **15**

準備してください …… **18**

初めて使うとき …… 18

メンテナンス＆サービス …… **19**

冬期の凍結による破損予防について …… 19

長期間使用しないとき …… 24

機器を移設・浴槽を交換したとき …… 24

日常の点検とお手入れ …… 25

故障かな？と思ったら …… 27

故障表示 …… 32

アフターサービスについて …… 35

仕様・用語集 …… **36**

仕様 …… 36

用語集 …… 38

Safety Precautions …… **39**

Names of Parts …… **48**

保証書 …… **裏表紙**

品　名

お客様がご使用のガスふろ給湯器の品名は、機器本体に表示されています。
表より、製品のタイプと型式名を確認してください。

◆◆◆ 全自動（フルオート）タイプ

品　名	型 式 名
RUF-HE160A	HOL-E1600AQ
RUF-HE160AC	HOL-E1600AQ-C
RUF-HE160AL	HOL-E1600AQ-L
RUF-HE160AK	HOL-E1600AQ
RUF-HE160ACK	HOL-E1600AQ-C

◆◆◆ 自動湯はり（オート）タイプ

品　名	型 式 名
RUF-HE80SA	HOL-E800SA
RUF-HE80SAC	HOL-E800SA-C
RUF-HE80SAL	HOL-E800SA-L

安全のための注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

◆◆◆絵表示の意味

一般的な危険
警告
注意

高温注意

感電注意

一般的な禁止

触れないこと

ぬれ手禁止

分解禁止

必ず行うこと

必ずアース線を接続する

⚠危険

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、もよりのガス事業者（供給業者）へご連絡ください。

必ず行う

ガス栓の例

使用をやめ
ガス栓を閉じる。

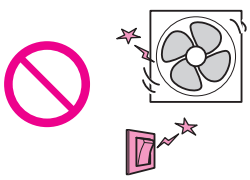
窓を開ける。

もよりの
ガス事業者（供給業者）
に連絡する。

- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺の電話も使用しないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火を使ったり
電源プラグの
抜き差し禁止

電気器具（換気扇
など）のスイッチの
「入・切」禁止

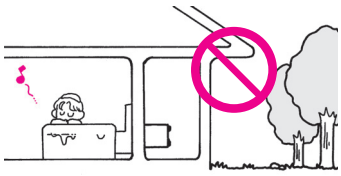


ガスのにおいのする
場所での電話の
使用禁止

安全のための注意（つづき）

⚠危険

屋内に設置しない



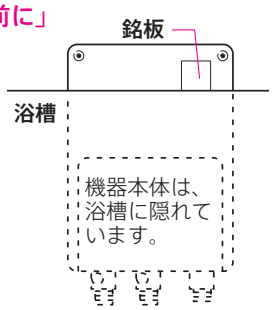
- この機器は壁貫通型です。屋内に設置しないでください。また、給気口、排気口は屋外に面した壁面の外に出るようにしてください。
  正常な給排気ができないための異常燃焼や、室内に燃焼排ガスが充満することによる一酸化炭素中毒の原因となります。

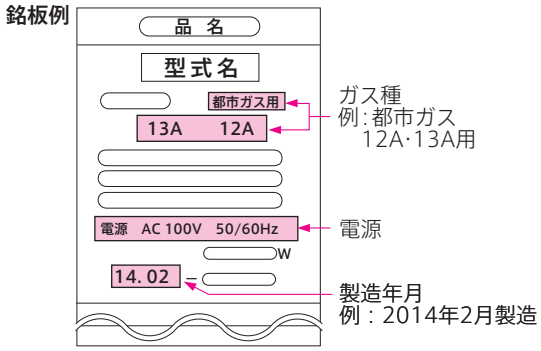
⚠警告

ガスの種類と電源を確認

- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
- 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。
  異なるガスや電源で使用すると、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。
  不明な点はお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。
  移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。

P35「アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に」



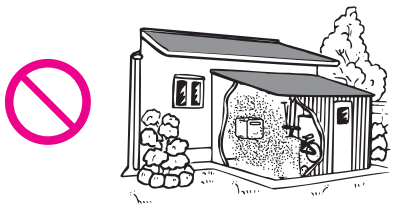


引火のおそれのあるものの使用禁止 スプレー缶厳禁

- 機器や排気口、排気筒トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。
  引火して、火災のおそれがあります。
- 機器や排気口、排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。
  熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

囲い禁止

- 増改築などによって排気口や排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。
  不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



排気口がシートで覆われているときは使用しない

- 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで排気口や排気筒トップを覆うことがあります。このような場合は使用しないでください。
  不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

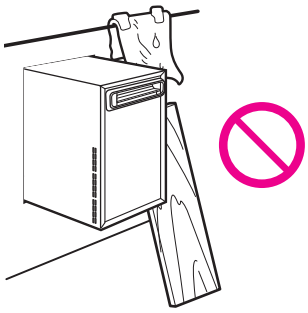
工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

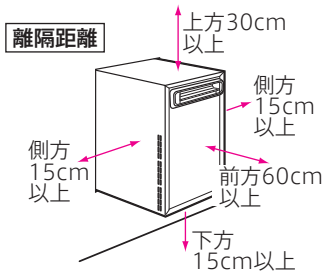
⚠警告

可燃物に注意

● 機器や排気口、排気筒トップの周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物）を置かないでください。火災など、思わぬ事故の原因となります。



● 機器や排気口、排気筒トップは、周囲のものとは常に下記の離隔距離を確保してください。



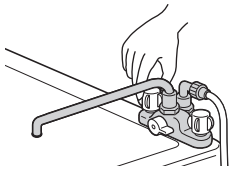
異常時の処置
地震・火災などの緊急のときには

● 機器の異常（排気口や排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。

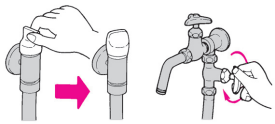
P35「アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に」

①運転スイッチを「切」にする。

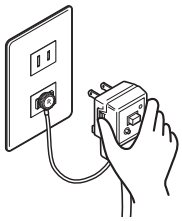
②給湯栓を閉じる。



③ガス栓・給水元栓を閉じる。



④漏電ブレーカーを抜く。



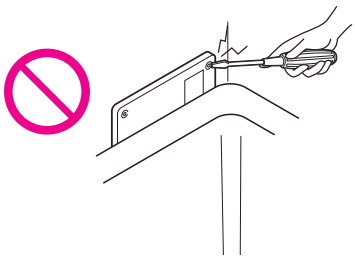
● 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは…

P04「ガス漏れ時の処置」

改造・分解禁止

● 絶対に改造・分解は行なわないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



安全のための注意（つづき）

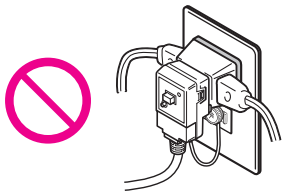
⚠警告

入浴時のご注意
- 浴槽に潜らないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

ガスの接続について
- この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者（供給業者）へ依頼してください。

子供に対する注意
- 浴室で遊ばせないでください。
  おふろを沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽に潜ったりしないように注意してください。
  思わぬ事故の原因となります。

許容電力以上の使用禁止
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



優先切替スイッチ使用時のご注意（リモコンを 2 個設置している場合）
- 優先切替スイッチを使用する場合、他の人がお湯を使用していないか確認してください。
  優先を切り替え給湯温度が変更されると、思わぬ熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故やけがの原因となります。
- 優先を切り替えたときには、必ずリモコンで給湯設定温度を確認してください。
  温度が変わっていることがあります。

必ず行う

使用中の外出・就寝禁止
- 給湯したまま、就寝・外出はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

他の機器との接続について
- この製品は太陽熱温水器と接続することができません。
  接続して使用すると、高温のお湯が出てやけどの原因となります。

入浴するときはやけどに注意
- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- 追いだきのときは循環アダプターが熱くなったり循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

高温注意

必ず行う

浴槽のふたに関する注意
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。
  ふたが外れておぼれたり、やけどをするなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

⚠警告

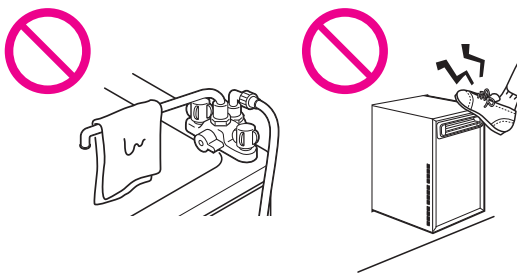
お湯を使うときはやけどに注意

必ず行う

- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子さまには一人でお湯を使わせないでください。
  - ・ お湯を一度止めて再度使用するとき
  - ・ 高温のお湯を使った直後
  - ・ お湯の流量を急に少なくした場合
  - ・ 夏期など水温の高い時期にお湯をごく少流量で使おうとした場合
  - ・ トイレの水を流すなどして給水圧が変化した場合
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。
- 給湯栓でお湯の流量を少なくしすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりします。特に水温が高いときは、給湯温度を低くしても湯量が少ないと熱いお湯が出ることがあります。こんなときは湯量を増やすか、水と混ぜてお使いください。
- 給湯使用中はシャワー金具や水栓本体が熱くなりますので、やけどにご注意ください。

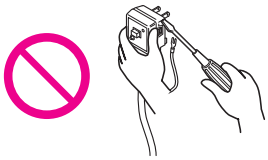
無理な力を加えない

- 機器本体や排気筒トップ・ガス管などの付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。けがやガス漏れ·不完全燃焼の原因となります。また、破損や故障の原因ともなります。
- シャワー金具の出湯管にぶら下がったり、タオルをかけたりしないでください。
  けがや故障の原因となります。

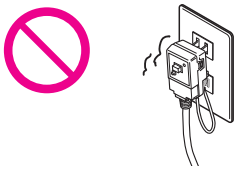


電気事故防止のために

- 漏電ブレーカー・電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火のおそれがあります。



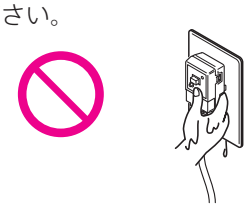
- 漏電ブレーカーは確実にさし込んでください。さし込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。



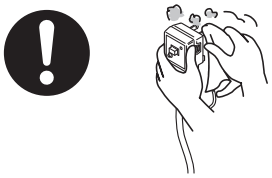
- 傷んだ漏電ブレーカー・電源コードは使用しないでください。

- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。

ぬれ手禁止



- 漏電ブレーカーのコンセント差込部の刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



アース必要

- この機器はアースが必要ですので、アース線がアース端子に接続されているか確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
  アース端子がない場合は有資格者によるアースの取り付けが必要です。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

アース必要

安全のための注意（つづき）

⚠注意

つららに注意

- 冬期は特に、排気口、排気筒トップの下に立ち入らないでください。積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下し、けがの原因となります。

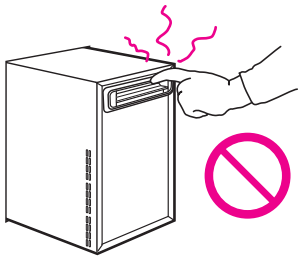
高温のお湯を水と混ぜて使うとき

- やけど防止のため、お湯を出すときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。

排気口、排気筒トップでのやけどに注意

- 使用中、使用直後は排気口や排気筒トップとその周辺は高温になりますので、さわらないでください。

接触禁止



使用するときは浴室の窓を閉める

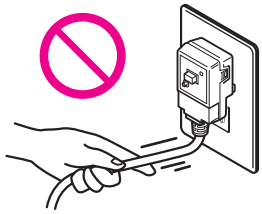
- 排気口から出た燃焼排ガスが浴室の窓など開口部から室内に流入し、思わぬ事故の原因となります。

出湯管に指を入れない

- 出湯管の先端に指を入れないでください。
  けがの原因となります。

電源コードを持って引き抜かない

- 電源コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かないでください。コードが断線して発熱・発火の原因となります。



用途について

- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワー、おふろへの湯はり以外の用途には使用しないでください。
  これ以外の用途に使用すると、思わぬ事故の原因となります。
- 出湯管にホースをつながないでください。
  機器が破損することがあります。

給気口や排気口、排気筒トップに指や棒を入れない

- 給気口や排気口、排気筒トップに指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

機器を廃棄する場合（乾電池に関する注意）

- 機器を取り替えた場合、これまでご使用になっていた機器は専門の業者に処理を依頼してください。
  お客様が処理する場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正しく処理してください。

入浴剤や洗剤などについて

- 硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。
  熱交換器の腐食や故障の原因となります。
  異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。
  使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
  思わぬ事故や故障の原因となります。
- 入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

お願い

水による着色について

- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

断水時のご注意

- 断水すると使用できません（追いだきすることもできません）。使用中に断水すると停止します。
- 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
- 故障表示が出ることがあります。「運転」を「切」にして再度「入」にし、水の供給が復帰するまでお待ちください。

P27「故障かな？と思ったら」

- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
  断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

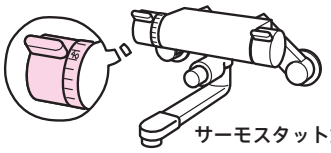
停電時のご注意

- 停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
- 給湯中に停電するとお湯が水になります。ご注意ください。
- 電力の供給が復帰したときに、現在時刻が表示されていなかったり、給湯温度設定が変わっていることがあります。表示を確認して、必要に応じて調節してください。
- 冬期など凍結のおそれがある場合は、水抜きをしてください。
  停電すると凍結予防ヒーターが働かなくなり、通常の寒さでも機器内の水が凍結して、破損事故・水漏れ故障の原因となることがあります。

P21「対策ー 3…水抜きによる方法」

水栓について

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタット式水栓をご使用の場合はリモコンの給湯温度はご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。



サーモスタット式水栓

電源を切らない

- 長期間ご使用にならない場合以外は、漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、分電盤の専用ブレーカーを落としたりしないでください。
  冬期は特に、電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しなくなり、凍結などの故障の原因となることがあります。

循環アダプターをタオルでふさがない

- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。
  循環不良でおふろ沸かしができません。
- 浴槽内でタオルを使ったり、衣類やペットなどを洗わないでください。
  毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。

安全のための注意（つづき）

お願い

雷時の注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、漏電ブレーカーを抜いてください。
  雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、漏電ブレーカーがぬれていないことを確認した上でコンセントにしっかり差し込んでください。

ぬれ手禁止

- 漏電ブレーカーを差し込んだ後は、現在時刻や温度の設定を再度行ってください。

冬期または長期間使用しないとき

- 冬期は凍結予防をしてください。
  P19「冬期の凍結による破損予防について」
- 長期間使用しないときは水抜きをしてください。
  P24「長期間使用しないとき」

適合する別売品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
  事故や故障の原因となります。

運転「切」で給湯栓を開けない

- 運転スイッチが「切」の状態で給湯栓を開けないでください。水を使用する場合、混合水栓は「水」の位置で使用してください。
  「湯」の位置で水を使用するなどして機器内配管に冷水が流れると、機器内が結露して機器の寿命を短くします。

※水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火をリモコンの表示で確認してください。

一般家庭用品です

- 業務用のような使用頻度の高い使い方をすると機器の寿命を短くします。

積雪による排気口の閉塞について

- 積雪や屋根から落ちた雪などで給気口・排気口・排気筒トップがふさがらないようにご注意ください。
  積雪後は点検・除雪を行ってください。
  雪でふさがれると、故障の原因となります。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。

シャワーの取り扱いに注意

- シャワーヘッドを浴槽やシンク、洗面器の中に浸けたまま放置しないでください。
  断水時など水圧が弱くなった場合に、機器内に逆流するなどして思わぬ故障の原因となることがあります。

リモコンの取り扱いに注意

- 台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
  故障の原因となります。
- お子様がいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。
  故障の原因となります。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。
  故障の原因となります。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
  画像や音声が乱れることがあります。

お願い

燃焼排ガスについて

- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは、排気口や排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
  変色・破損・腐食の原因となります。

運転停止時の注意

- 機器を使用中、ガス栓を操作して消火しないでください。
- 機器を使用中、漏電ブレーカーをコンセントから抜いて消火しないでください。

温泉水や地下水や井戸水で使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合がありますので接続しないでください。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。

飲用・調理用に使うときは

- 機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器やリモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。
  表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

機器の設置状態についての確認

- 下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所に連絡し、設置場所を変更してください。
  ①機器は水平に（正しい角度で）設置されていますか？
  ②機器の給排気部（機器本体の給気口や排気口、排気筒トップなど）は、冷・暖房や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？そうでないと正常な燃焼の妨げになることがあります。
  ③棚の下など落下物の危険のあるところを避けて設置してありますか？
  ④メンテナンスできる場所に設置されていますか？そうでないとメンテナンスをお断りすることがあります。
  ⑤排気口や排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪で排気口が閉塞されることがありませんか？不完全燃焼の原因になります。

増改築時の注意

- 機器や排気筒トップの周囲に塀など設ける場合は、お買い上げの販売店または当社の支社·支店·営業所·出張所へご相談ください。
  塀などの形状・大きさ・機器や排気筒トップからの距離によっては、機器の正常な燃焼を妨げることがあります。また、機器の前方には点検・修理作業のための空間が必要です。

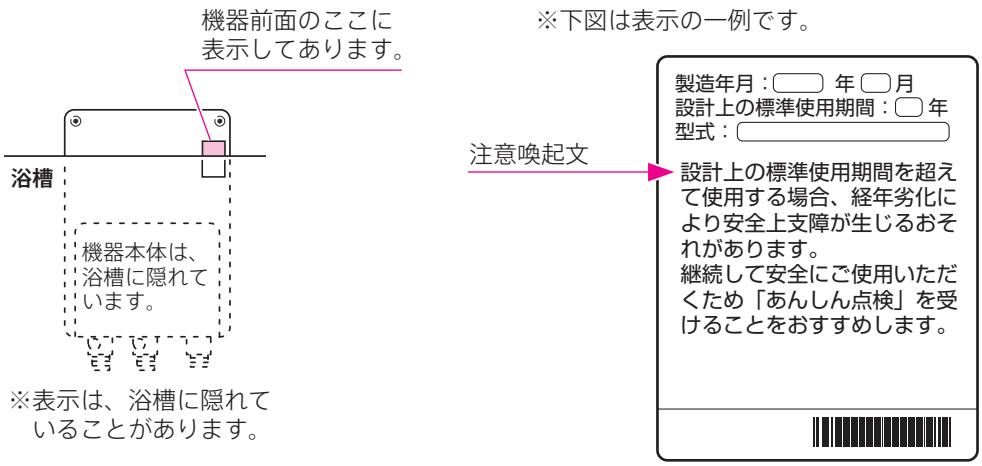
あんしん点検に関するお願い

◆◆◆ あんしん点検（有償）について

- 機器を長期間使用すると、経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあります。ご使用上支障がない場合でもご使用の年数が機器のフロントカバーに表示してある「設計上の標準使用期間」になりましたら、「あんしん点検」（有償）を受けてください。また、「設計上の標準使用期間」が近づきましたら、「あんしん点検」のご案内を差し上げますので、下記の「所有者登録について」に従って、ご購入後すぐに所有者登録を行ってください。
- 「あんしん点検」は、お客様の任意で受けていただく有償の点検になります。
- 「あんしん点検」は、長期使用製品安全点検制度で定められた省令の点検基準を参考に当社で設定した点検基準で実施します。
- 「あんしん点検」は、点検の基準に機器が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

◆◆◆ 機器への表示について

- 機器のフロントカバーに注意喚起文・製造年月・設計上の標準使用期間・型式が表示されていますので、確認してください。



◆◆◆ 所有者登録について

- この機器を末永く安心してお使いいただくために、機器およびその所有者の情報登録をお願いしております。同封の所有者票に必要事項をご記入のうえ郵送いただくか、所有者票に記載してあるインターネットのアドレスにアクセスし、画面の案内に従って登録してください。聞き間違いなどによる誤登録を防ぐため、電話による登録は受け付けておりませんのでご了承ください。また、引っ越しなどで登録内容に変更が生じた場合や紛失などにより所有者票が手元にない場合は、リンナイ 製品点検センターまでご連絡ください。
  リンナイ（株）製品点検センター フリーダイヤル：0120 － 493 － 110

◆◆◆ 設計上の標準使用期間について

- この機器は、設計上の標準使用期間※を 10 年と算定しております。

※ 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（14 ページの「設計上の標準使用期間の算定の根拠について」参照）で適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、機器ごとに設定されるものです。
保証書にある無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

◆◆◆ 設計上の標準使用期間の算定の根拠について

- この機器の設計上の標準使用期間は、製造年を開始時期とし、給湯部分については JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に、ふろ部分については JIS S 2072「家庭用ガスふろがま·石油ふろがまの標準使用条件，標準加速モード及び試験条件」の「4 ふろがまの標準使用条件」に、それぞれ従って以下の標準使用条件を想定して耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終了時期として設定しています。

給湯の標準使用条件

家族構成	4 人世帯
用途	洗面・台所・湯はり・シャワー
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1 日使用量	456 リットル
1 日使用時間	1 時間
1 年使用日数	365 日

ふろの標準使用条件

家族構成	4 人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろのおいだき
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
浴槽の水量	180 リットル
沸き上げ温度（沸かし上げ·おいだき）	40℃
沸かし上げ回数	1 回／週（水温 15℃から 40℃）
追いだき回数	5 回／日
1 年使用日数	365 日

- この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・海岸近辺（塩害地域）・高地（海抜 1,000m 以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用すると、設計上の標準使用期間より早く経年劣化が起きる可能性がありますので、機器に表示している設計上の標準使用期間が経過する前にあんしん点検を受けてください。詳しくはリンナイ　製品点検センターまでご連絡ください。
  リンナイ（株）製品点検センター　フリーダイヤル：0120 － 493 － 110
- この機器は一般家庭用です。業務用（ホテル・料理店・美容院などで使用）など、多頻度・長時間のご使用は、設計上の標準使用期間より早く経年劣化が起きる可能性がありますので、このようなご使用はおやめください。

◆◆◆ あんしん点検の期間・あんしん点検の通知について

- この機器は、設計上の標準使用期間（10 年）の終了時期の前後 1 年間を点検相当期間（点検をおすすめする期間）として設定しています。
- 所有者登録をしていただいた方に、点検相当期間（点検をおすすめする期間）の始まる時期にあんしん点検の通知をいたします。

◆◆◆ あんしん点検のお申し込み・お問い合わせ先

- この機器のあんしん点検のお申し込み・お問い合わせは、下記の連絡先へお願いします。
  ■リンナイ（株）製品点検センター
  フリーダイヤル：0120 － 493 － 110
  受付時間／平日 9：00 ～ 17：30 ※土日・祝日など当社指定休日を除く。
- **点検料金について**
  点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金については上記フリーダイヤルにご確認ください。
  ホームページでは点検料金に関するご案内をしております。また、点検の結果、整備·修理が必要となった場合は、別途、整備・修理費用が発生します。
  点検料金に関するご案内　http://www.rinnai.co.jp/safety/
- あんしん点検は弊社社員または弊社が認定した委託業者が行います。

◆◆◆ 日常の点検・お手入れについて

- この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れを行ってください。
- 日常の点検・お手入れのしかたについては、25 ページの「日常の点検とお手入れ」を参照してください。
- 点火不良・異音・異臭・水漏れ・使用途中に火が消えるなどの症状がみられましたら、直ちに使用を中止し、リンナイ（株）お客様センターまでご連絡ください。
  リンナイ（株）お客様センター　フリーダイヤル：0120 － 054 － 321

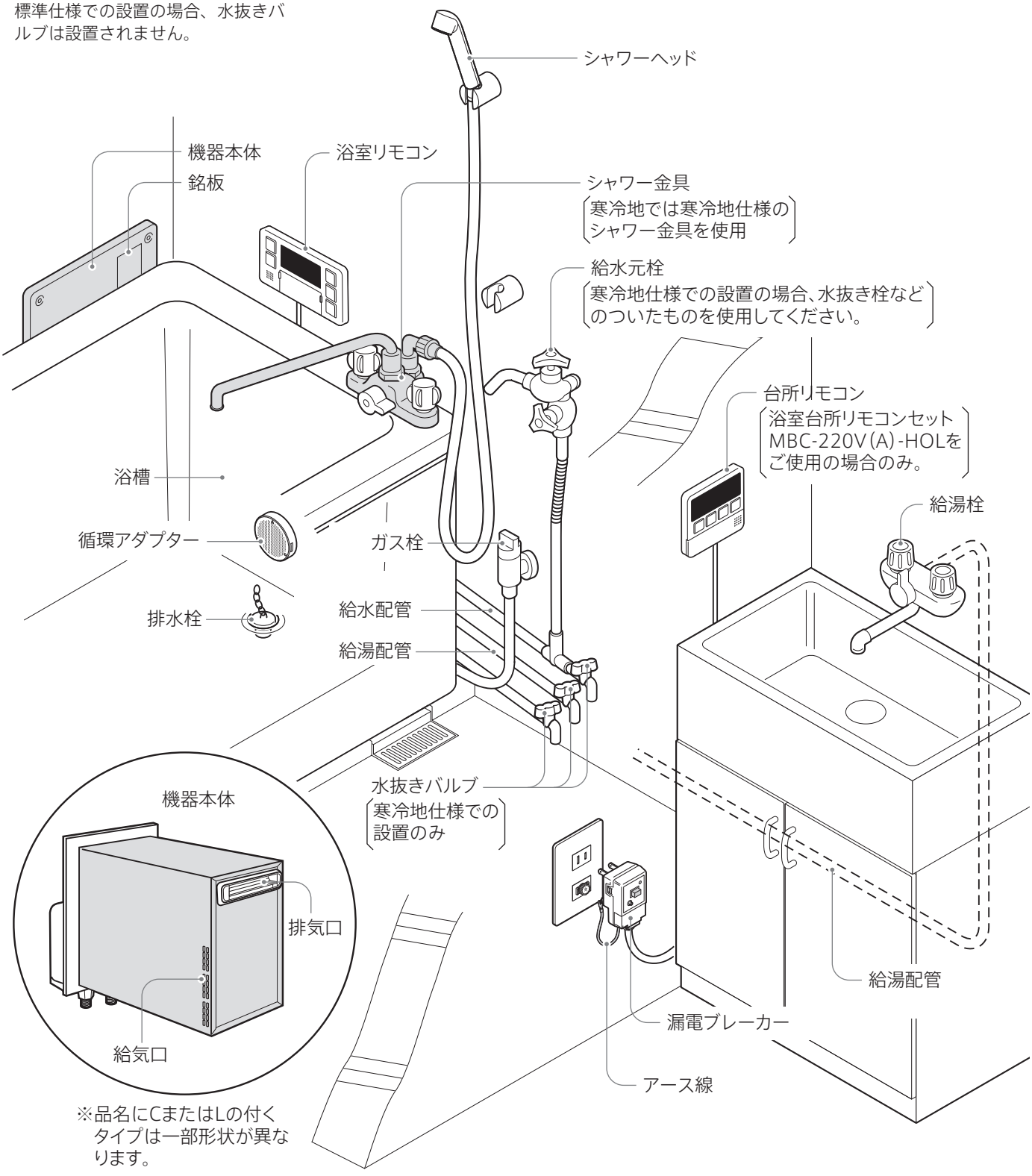
各部のなまえとはたらき

ヒント

イラストは、シャワー金具（別売品）を使用し、浴室外に給湯配管をした寒冷地仕様での設置例です。
給湯配管のない場合もあります。
標準仕様での設置の場合、水抜きバルブは設置されません。

機器各部の名前と、機器本体・リモコンの取り付け位置を確認してください。

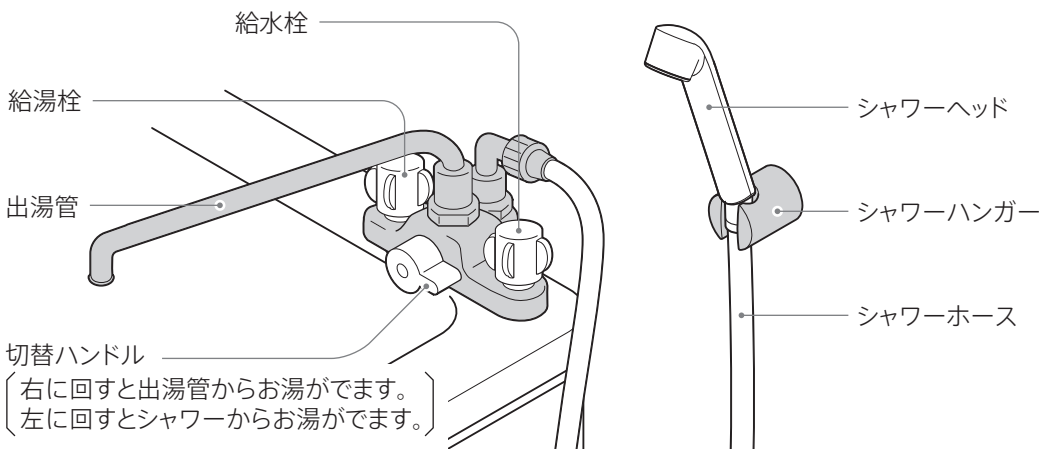
機器本体とお湯まわり



※品名にCまたはLの付くタイプは一部形状が異なります。

シャワー金具の各部の名前を確認してください。
市販の水栓をご使用の場合は、それらに付属の取扱説明書を参照してください。

◆◆◆ シャワー金具



■ シャワー金具の使いかた（お湯(水)の出しかた／止めかた）

①切替ハンドルを回して、出湯（水）先（出湯管／シャワー）を決めます。（右に回すと出湯管、左に回すとシャワー）
②お湯を出す場合は給湯栓を、水を出す場合は給水栓を左に回すと、出湯管（またはシャワー）からお湯が出てきます。
③お湯（水）を使います。
④使用後は、給湯栓（給水栓）を右に回して、お湯（水）を止めます。
※お湯を使う際には、必ず出湯先を確認してください。予期しないところからお湯が出ると、やけどをしたり思わぬ事故につながることがあります。
※給水圧力が低く、十分な湯量が得られないときは、お湯と水を混ぜて使用することをお推めします。この場合、給湯温度は 60℃、給湯栓はほぼ全開で使用してください。
※お湯と水を混ぜて使うときには、必ず水を先に出してから給湯栓をあけてお湯を出してください。お湯を先に出すと、あついお湯が出てやけどをしたり思わぬ事故につながることがあります。

注意

お願い

運転「切」で給湯栓を開けない

- 水を使用する際、混合水栓の場合は必ず「水」の位置で使用し、シャワー金具は必ず給水栓を開けて水を使ってください。リモコンの運転スイッチが「切」の状態で混合水栓の「湯」の位置で水を流したり、シャワー金具の給湯栓を開けるなどして機器内配管に冷水が流れると、機器内が結露して機器の寿命を短くします。

各部のなまえとはたらき (つづき)

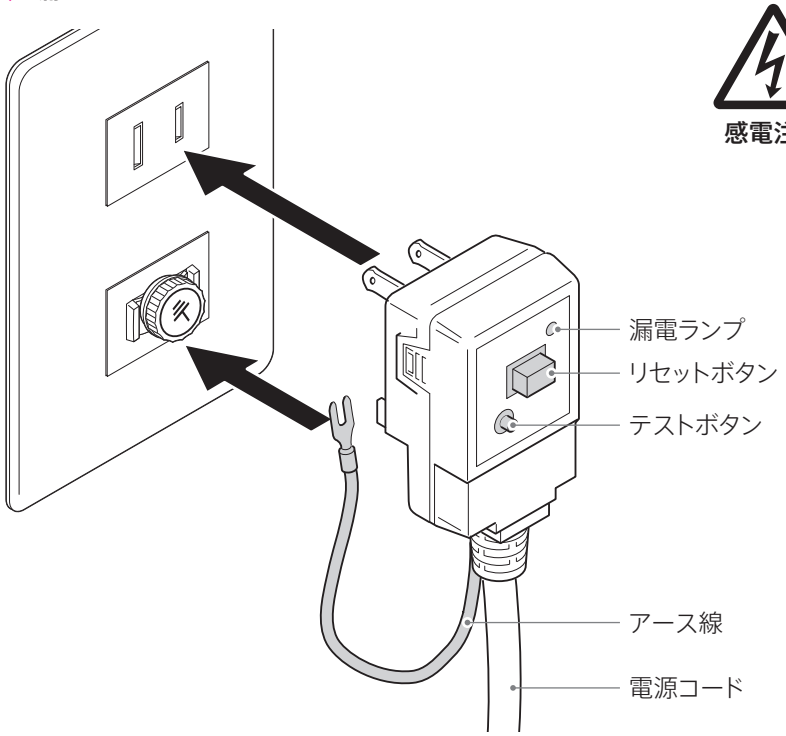
漏電ブレーカーの各部の名前を確認してください。

ヒント

感電事故防止のため、取り扱いには注意してください。

P08「電気事故防止のために」

漏電ブレーカー



■ 作動確認をしてください

- 機器に付属の漏電ブレーカーは、安全のため月に 1 度程度、作動確認をしてください。

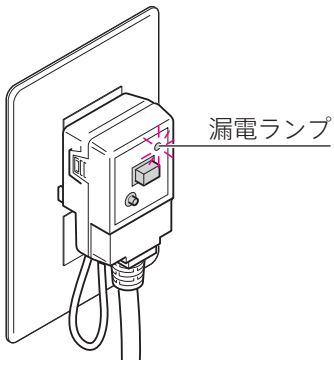
①漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていることを確認します。
②テストボタンを押し、漏電ランプが点灯すれば正常です。
③リセットボタンを押して作動確認を終了します。漏電ランプが消灯します。

⚠ 注意

もし、漏電ランプが点灯したら…

- 機器本体に異常が見られない場合、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。
- 機器本体が水に浸っている場合、排水口の掃除をするなど冠水の原因を取り除き、水がひくのを待って、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。

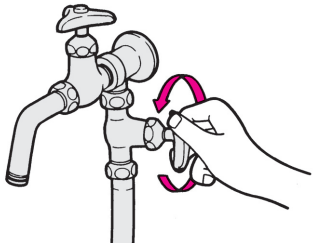
上記の操作をしてもなおも漏電ランプが点灯するようであれば、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にお問い合わせください。



初めて使うとき

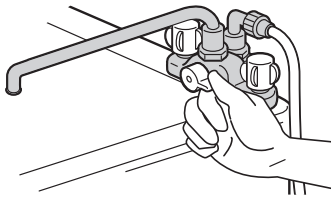
初めて使うときは、次の準備が必要です。

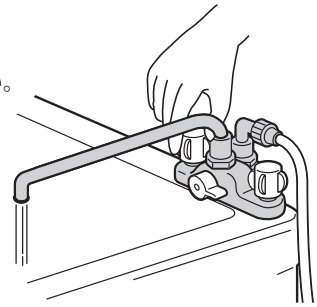
1… 給水元栓を全開にする。



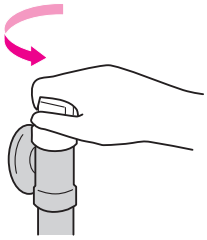
2… シャワー金具の切替ハンドルを右（バス）に回す。給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

市販の水栓をご使用の場合には、
それらの取扱説明書を参照してください。

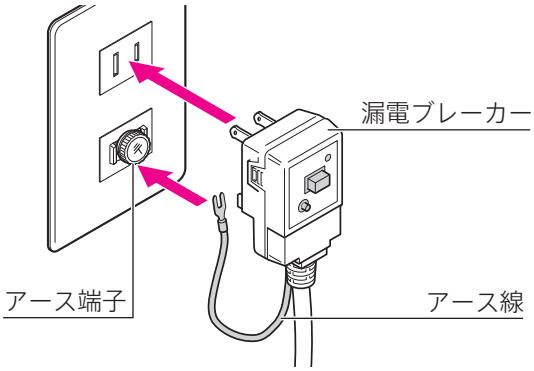




3… ガス栓を全開にする。



4… アース線をアース端子に接続し、漏電ブレーカーをコンセントに差し込む。



⚠ 警告

ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらない

- 漏電ブレーカーをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

冬期の凍結による破損予防について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

⚠注意

- 冬期は暖かい地方でも、機器や配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（－ 15 ℃以下）なったり、そうでなくても風のあるときには、「対策－ 1」では凍結予防ができなくなります。そのような場合には、「対策－ 2」「対策－ 3」を行ってください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず「対策－ 3」を行ってください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

対策－ 1…凍結予防ヒーターによる方法

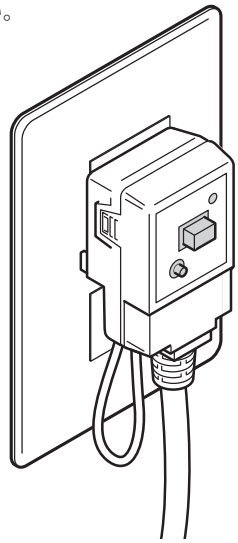
この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒーター（給湯側・ふろ側）が組み込まれています。

①漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

抜けていると作動しませんので注意してください。

外気温が下がると…

自動的に凍結予防ヒーターが作動します。



⚠注意

電源について

- 機器に電力を供給しないと、凍結予防ヒーターは作動しません。漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。
- 停電時は凍結予防ヒーターが作動しませんので、「対策－ 3…水抜きによる方法」の①～⑦の手順で水抜きを行ってください。

⚠注意

凍結予防

- 風が強いときや外気温が -15℃以下のときは、「対策ー 1」だけでは凍結を予防できませんので、下記「対策ー 2…給湯栓から水を流す方法」または「対策ー 3…水抜きによる方法」の処置をしてください。
- 「対策ー 1」だけでは給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防はできませんので、保温材を巻くなどの処置をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」などを配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。
- 上記の処置をしないで機器が破損したときの修理は保証期間内でも有料です。
- 凍結したときは…。

📖P23「凍結したときの処置」

◆◆◆ 対策ー 2…給湯栓から水を流す方法

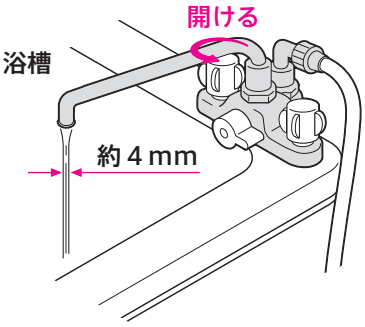
給湯栓から水を流すことにより、機器本体だけでなく給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

①リモコンの運転スイッチを「切」にします。

②ガス栓を閉じます。

③シャワー金具の切替ハンドルを右（バス）に回し、給湯栓を開けて、1 分間に約 400 ミリリットルの水を流しておいてください。

※浴槽の排水栓を閉めた状態で浴槽に水を流すと、浴槽から水があふれることがあります。



ヒント

サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
シャワーヘッドから水を流す場合、シャワーヘッドが浴槽内に落ち込まないような位置で固定してください。

⚠注意

- 流量（水の出具合）が不安定になることがあります。念のため、30 分ぐらい後にもう一度流量（水の出具合）をご確認ください。
- サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

冬期の凍結による破損予防について（つづき）

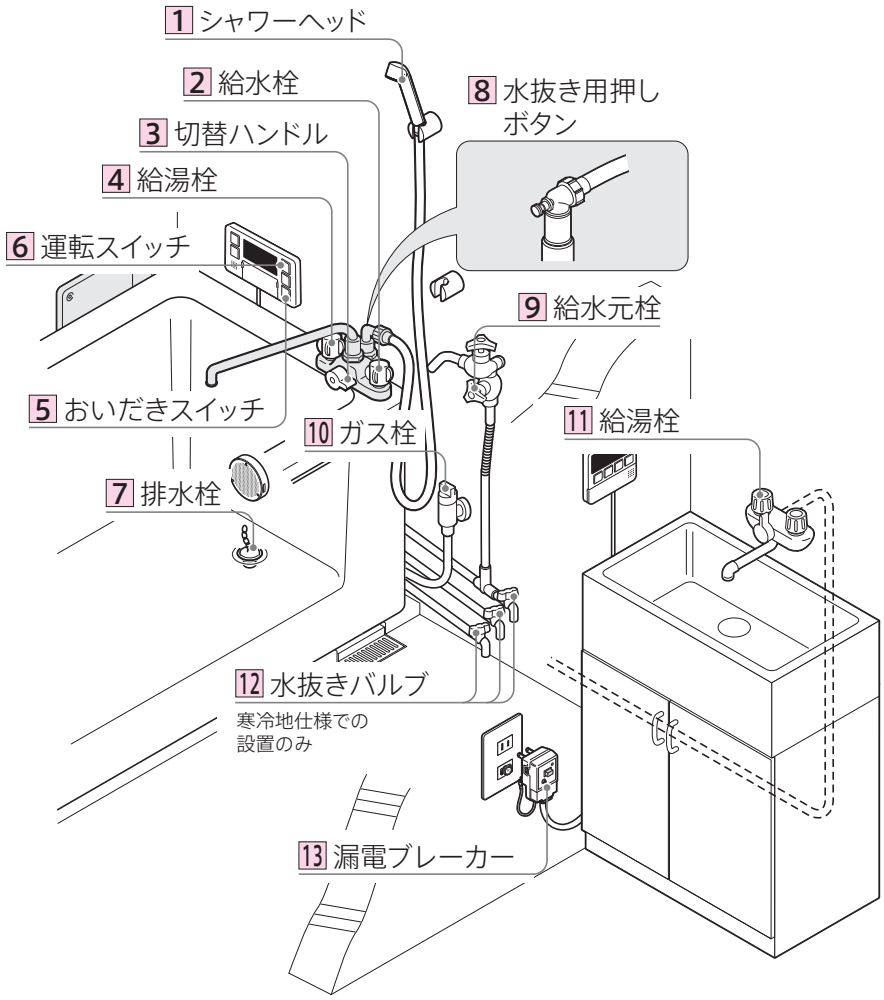
対策ー 3…水抜きによる方法

機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときにも、必ずこの「対策ー 3」の水抜きを行ってください。

- 使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

ヒント

図は設置例です。配管などは実際と異なることがあります。



⚠ 注意

やけどに注意

- 出湯管やシャワー、水抜きバルブから高温のお湯が出ることがありますので、ご注意ください。

◆◆◆ 水抜き

①ガス栓 10 ・給水元栓 9 を閉じます。
右いっぱいに回してください。

②浴槽の排水栓 7 を抜き、浴槽を空にします。

③リモコンの運転スイッチ 6 を「切」にします。

④全ての給湯栓 4 11 とシャワー金具の給水栓 2 を全開にします。
浴室外に給湯配管している場合は、浴室外の給湯栓も全開にしてください。
シャワー金具の使用方法については…
📖P16「シャワー金具」

⑤寒冷地仕様の場合、水抜きバルブ 12 を全開にし、給水元栓 9 の水抜き栓などを操作し、水を抜きます。
水抜き栓などが取り外せる場合は、なくさないように気を付けてください。

⑥シャワー金具の水抜き用押しボタン 8 を押します。切替ハンドル 3 を右（バス）、左（シャワー）に回します。

⑦シャワーヘッド 1 を振って、ホース内の水をよく切ります。

⑧水が出なくなったら給水元栓 9 を元の状態にし、水抜きバルブ 12 を元通りに閉じます。シャワー金具の水抜き用押しボタン 8 は引っぱって元通りにします。
※標準仕様の場合、手順⑤～⑧は必要ありません。

⑨運転スイッチ 6 を「入」にし、おいだきスイッチ 5 を押して、空運転を行います。このまま放置するとリモコンに故障表示が点滅しますが故障ではありません。
運転スイッチ 6 を「切」にし、再度「入」にすると、故障表示が解除されます。この操作を、浴槽の循環アダプターから水が出なくなるまでくり返してください。

⑩運転スイッチ 6 を「切」にします。

次にお使いになるまでそのままの状態にしておいてください。
漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、分電盤の専用ブレーカーを「切」にしたりしないでください。

冬期の凍結による破損予防について（つづき）

◆◆◆ 水抜きした機器を、次に使うとき

はじめてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合は機器に通水してください。機器本体および配管などが凍結している可能性のある場合には、「凍結したときの処置」をご覧ください。

◆◆◆ 通水

①全ての給湯栓 4 11 とシャワー金具の給水栓 2 を閉じます。

②給水元栓 9 の水抜き栓、水抜きバルブ 12 が元通り閉じているか、シャワー金具の水抜き用押しボタン 8 が引っぱってあるか確認します。（寒冷地仕様の場合のみ）

③P18 の「初めて使うとき」に従ってください。

お願い

再び使用するときのご注意

- 凍結などによる水漏れで壁を汚したり、階下をぬらした場合の修理・補修費用はお客さまの負担となります。
- 長期間使用しなかった場合、現在時刻・お知らせ音の音量は再セットしてください。

📖 リモコン取扱説明書

凍結したときの処置

- ガス栓・給水元栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開けて、解凍するのを待ってください。
- 給水元栓を開け、給湯栓を操作して正常に水が出るようになれば、給湯することができます。
- 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。階下をぬらすと、近隣に迷惑をかけるだけでなく、多大な修理・補修費用がかかります。これらの費用はお客さまの負担となります。
  水漏れなど異常に気づいたときは…
  📖P06「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」
- 解凍が不十分な状態で、自動スイッチやおいだきスイッチを押すと、リモコンに故障表示「502」や「661」が点滅することがあります。
  こんなときは解凍するのを待って…
  📖P32「故障表示」

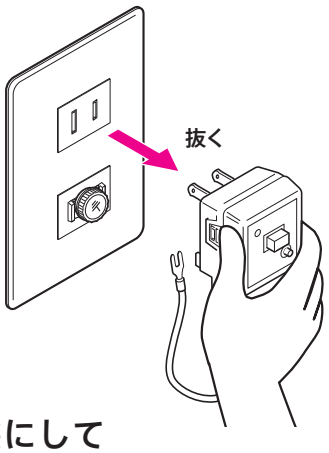
長期間使用しないとき

長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1…　機器の水抜きをする。

P21「対策ー 3…水抜きによる方法」

**2…　漏電ブレーカーを
コンセントから抜く。**



**次にお使いになるまでそのままの状態にして
おいてください。**

⚠警告

ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらない

- 漏電ブレーカーをコンセントから抜く際は、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

機器を移設・浴槽を交換したとき

増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。古い浴槽サイズについての記憶内容の消去と、新しい浴槽での自動運転の試運転を行ってください。操作方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。

◆◆◆ 日常の点検

◆◆◆ 点検のポイント ― 機器周辺の状態

- 機器のまわりおよび排気口、排気筒、排気筒トップのそばに燃えやすい物はありませんか？
- 排気口をなにかがふさいでいませんか？詳しくは…

📖P05「引火のおそれのあるものの使用禁止　スプレー缶厳禁」
📖P06「可燃物に注意」

◆◆◆ 点検のポイント ― 機器の状態

- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器から異常燃焼の音（点火時や使用時にゴーと音がする）や他の異常音は聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 万一異常を感じたときは…

📖P04「ガス漏れ時の処置」
📖P06「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

◆◆◆ 点検のポイント ― 漏電ブレーカー

- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか？
- 漏電ブレーカーは正しく作動していますか？月に 1 回程度、作動確認をしてください。

📖P17「作動確認をしてください」

☑ ヒント

機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

お願い

定期点検のすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃焼部等は年 1 回程度の定期点検をおすすめします。なお、この器具は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。給水用具に関しては（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 4 ～ 6 年に 1 回程度をおすすめします。（有料）

※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

📖P35「アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に」

- 万一使用中に異常音がする、排気に不快な臭いが混ざっている、排気が目にしみるなどの異常に気づいたときは…

📖P06「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

◆◆◆ 日常のお手入れ

◆◆◆ 機器とリモコンのお手入れ

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（野菜･食器洗い用）を含ませた布で軽く拭き取ってください。台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
  台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
  📖P12「お手入れの際の注意」

◆◆◆ 給湯栓のお手入れ

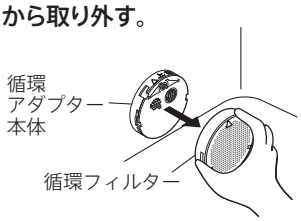
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部フィルターを掃除してください。
  詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

◆◆◆ 循環フィルターとフィルターガイドのお手入れ

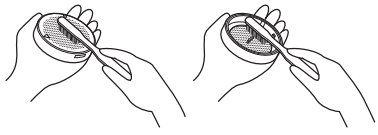
- 循環アダプターの循環フィルターとフィルターガイドは定期的（月 2 ～ 4 回）に掃除してください。

①循環フィルターを左に回す。

②手前に引いて循環アダプター本体から取り外す。

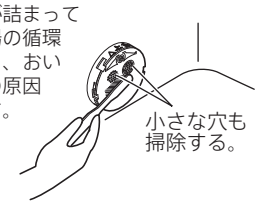


③循環フィルター全体をブラシなどで掃除する。

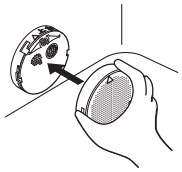


④フィルターガイドをブラシなどで掃除する。小さな穴にゴミなどが詰まっていたら取り除く。

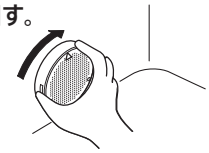
ゴミなどが詰まっているとお湯の循環が悪くなり、おいだき不良の原因となります。



⑤▼マークを合わせてはめる。



⑥差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。



ヒント

循環フィルターのお手入れの際は、金属などの固いブラシは使わないでください。

お願い

循環フィルターとフィルターガイドのお手入れの後は…

- 循環フィルターは元通り確実に取り付けてください。フィルターが外れていたり、取り付け方が不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。
- 循環フィルター以外は外さないでください。
- これらを守らずに機器が故障したときの修理は、保証期間内でも有料です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

お湯の温度について

給湯栓を開いてもお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は十分に開いていますか？ ● ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ ● LP ガスの場合、ガスがなくなっていませんか？ ● 凍結していませんか？ ● 運転スイッチが「切」になっていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	● 機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度の設定は適切ですか？（📖 リモコンの取扱説明書） ● 低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 ● 夏期などの水温が高いときには、設定温度よりあついお湯が出ることがありますが、異常ではありません。
高温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度の設定は適切ですか？（📖 リモコンの取扱説明書） ● 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 ● 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 ● 自動運転の湯はり中やたし湯運転中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふろ設定温度のお湯が出ます。また、湯はり・たし湯運転終了後も、一度お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふろ設定温度のお湯が出ます。 ● 一時止水栓付きの混合水栓を使用している場合や全自動洗濯機に混合水栓を接続している場合は、使用後、給湯栓・給水栓を閉めてください。 ● 一時止水栓で止めたままにしたり、全自動洗濯機に接続してある水栓を開けたままにしておくと、他の水栓（洗面所や台所）でお湯を使うとき、水が給湯側に流れ込み、使用する水栓側がお湯にならなかったり、ぬるくなることがあります。
給湯栓を絞ると水になった	● この機器は通水量が毎分 2 リットル以下になったときには消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。 ● 給水温度が高いときは、通水量が毎分 2 リットルを超えている場合でも消火することがあります。これは、あついお湯が出るのを防ぐためで、異常ではありません。
給湯温度の調節ができない	● 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合、操作しているリモコンの優先表示は点灯していますか？（📖 リモコンの取扱説明書）

自動運転をしても浴槽のお湯が設定した温度にならない	● お湯はり中にふろ設定温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。 ● ふろ設定温度は適切ですか？（📖 リモコンの取扱説明書）
湯温が変動して安定しない	● 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後に給湯栓を閉め、約 20 秒後に再度操作してください。それでも異常のあるときは故障の可能性があります。お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
たし湯運転中に燃焼ランプが点灯しない **（浴槽に水がはられる）**	● 給水温度が高いときや、給水圧が低いなどにより湯はり時の湯量（お湯の出具合）が少ないときには、水を加熱しないで浴槽に注ぐことあります。これは、ふろ設定温度よりも高い温度での注湯を避けるためで異常ではありません。

◆◆自動湯はりについて

湯はりの量が設定した湯量にならない	● 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（📖P26） ● 湯はり量（ふろ水位）の設定は適切ですか？リモコンの水位表示はめやすであり、実際の水位とは異なります。（📖 リモコンの取扱説明書） ● おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか？ ● 浴槽によっては高い水位（多い湯量）に設定するとお湯があふれることがあります。 ● 自動湯はり（オート）タイプの場合、おふろの自動運転が完了しないうちに自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ● 全自動（フルオート）タイプの場合、残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をすると、設定水位を低くした場合には、水位が設定よりも高くなることがあります。 ● 自動湯はり（オート）タイプの場合、残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をすると、その分だけ湯はり量が増えます。 ● 自動湯はり（オート）タイプの場合、残り湯が循環アダプターより上にある状態で自動運転すると、水位が多少ばらつきます。 ● 自動湯はり（オート）タイプの場合、自動運転で湯はりが完了した後で、自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりすると、お湯があふれることがあります。（📖 リモコンの取扱説明書）
自動運転の湯はり完了まで通常より時間がかかる	● おふろの自動運転中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯はりに時間がかかります。
自動運転を始めると、にごったお湯が出る	● セルフクリーン機能がはたらかず、おいだき配管内に残り湯があった場合には、次の自動運転を始めた直後、配管内の残り湯が少し混入します。特に入浴剤をご使用の場合、にごりが目立つことがあります。
追いだきができない **追いだき中に消火した**	● 浴槽の循環アダプター上部より 5cm 以上お湯または、水が入っていますか？ ● 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（📖P26） ● 断水していませんか？断水すると追いだきもできなくなります。

故障かな？と思ったら（つづき）

浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	● 自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
おふろ沸かし中に、リモコンのふろ燃焼表示が点滅したり、音（燃焼に伴う音）がしたりする	● 機器が湯温調節しているためで、異常ではありません。
おふろを沸かすのに時間がかかる	● 浴槽に残り湯がある状態で自動運転やおいだき運転を行うと、浴槽が空のときと比べておふろを沸かすのに時間がかかる場合があります。給湯能力よりもおいだき能力の方が低いためであり、異常ではありません。（浴槽の湯温が低いほど時間がかかります）
セルフクリーン機能がはたらかない（全自動（フルオート）タイプ）	● 次のような場合はセルフクリーン機能がはたらきません。（📖 リモコンの取扱説明書） ・運転スイッチ「切」の場合 ・自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・おいだき運転で水からおふろを沸かし上げた場合
浴槽の循環アダプターから「ボコ・ボコ」と空気の出る音がすることがある	● おいだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
自動運転の途中で燃焼を中断する	● 浴槽に正確に湯はりをするための間欠運転を行っているためです。（はじめてお使いになるときは、自動運転の水位を確認するため間欠運転を行います）
おいだき運転の途中でポンプが停止し、燃焼表示が点灯する	● おいだき運転開始時にふろ水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約 6 リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯（水）がない場合やおいだき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	● 運転終了後、浴槽のお湯のかくはんのためポンプがしばらく回ります。
保温中ときどきポンプが回る	● 浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。
湯はり中に燃焼ランプが点灯しない（浴槽に水がはられる）	● 給水温度が高いときや、給水圧が低いなどにより湯はり時の湯量（お湯の出具合）が少ないときには、水を加熱しないで浴槽にはった後、追いだきをしてふろ設定温度まで沸かし上げることがあります。これは、ふろ設定温度よりも高い温度のお湯を浴槽にはるのをさけるためで、異常ではありません。

◆◆◆給湯について

お湯が出ない	● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓が十分開いていますか？ ● LP ガスの場合、ガスがなくなっていませんか？
お湯も水も出ない	● 給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？

給湯栓から出るお湯の量が変化する	● お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりお湯が出なくなる場合もありますが、しばらくすると安定します。 ● 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
給湯栓を急に閉じるとゴツンという音がする	● 水圧が高い地域で、水が急に止まるために発生する音です。ゆっくり操作してください。

その他

使用中に失火した	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は十分に開いていますか？ ● ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ ● LP ガスの場合、ガスがなくなっていませんか？
お湯が白く濁って見える	● これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とはちがって全く無害なものです。
排気口・排気筒トップから白い湯気が出る	● 冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が小さな水滴に変わり、白い湯気に見えますが、故障ではありません。 ● 潜熱回収型の機器の場合、排気口から出る燃焼排ガスの温度が低くなり、よりその度合いが高くなります。
おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯が出る	● 浴槽のお湯（水）を排水したあと、セルフクリーン機能がはたらいた場合、循環アダプターからお湯が出ます。 ● お湯を使うと、機器内にたまっている水が熱で膨張して浴槽内に押し出されることがあります。異常ではありません。 ● 給湯栓を閉じたときに機器内に高い圧力が生じることがあり、このとき機器を保護するため過圧防止安全装置がはたらいて機器内にたまっている水を押し流し、浴槽内に水が流れ出ることがあります。異常ではありません。
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がする **運転スイッチ・おいだきスイッチ・たし水スイッチ・たし湯スイッチを押すと、機器から 5 ～ 15 秒音がする**	● 再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。
水が青く見える **浴槽や洗面台が青く変色した**	● 水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴槽や洗面台はこまめに掃除することにより、変色しにくくなります。

故障かな？と思ったら（つづき）

ポンプの回転音がする	● おいだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ● 予約運転をする場合、予約完了時刻の約 30 分前に、残り湯をチェックするためのポンプ運転をします。
追いだきの開始時や停止時などに「キュッ」という音がする	● 自動運転や追いだき運転などでポンプが回り始めるときと止まるときに「キュッ」という音がすることがありますが、異常ではありません。
リモコンの運転スイッチを「入」「切」したときや、給湯栓を開け閉めしたとき、また給湯を使用後しばらくするとモーターが動く音がする	● 再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で、異常ではありません。
機器本体の下のほう（浴槽の裏側）からポタポタと水滴の落ちる音がする **浴槽の下側から少量の水が流れ出る**	● 本機器は、水蒸気が熱を放出して生じた水（ドレン水）を機器本体に取り付けた中和器から浴室内に排出します。このため、ドレン水が流れ落ちる音が聞こえることがあります。 また、浴室の排水口の位置によっては、ドレン水が見えることがありますが異常ではありません。 ● ドレン水は微量のカルシウムを含んでいるため、蒸発すると白い跡が残ったり、また中和剤（炭酸カルシウム）の細かな粒がドレン水と一緒に出てくることがありますが、異常ではありません。

故障表示

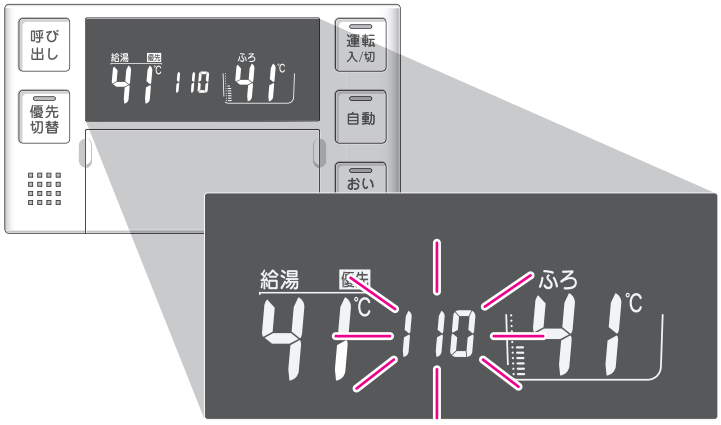
▶▶しくみ

故障表示の点滅と一緒に、運転ランプも点滅します。

ヒント

リモコンが、図とは異なることがあります。故障表示は、いずれのリモコンも時刻表示部に点滅します。
台所リモコンも設置の場合は、台所リモコンの時刻表示部にも故障表示が点滅します。

機器が故障すると、表示画面の時刻表示部に下記のような故障表示が点滅します。

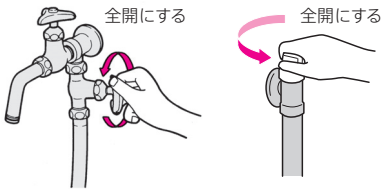


002	161	312	502	642	720
032	162	321	520	651	900
100	190	322	562	661	921
110	252	331	610	700	931
120	291	350	632	710	990
140	310	432			

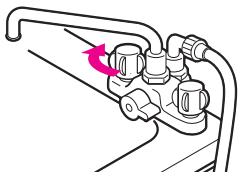
◆◆◆ 故障表示が現れた際の再確認のお願い

次の操作をしてください。

① ガス栓と給水元栓が十分開けてあるかを確認してください。



② お湯を使っている場所では、給湯栓を閉じます。



③ リモコンの運転スイッチを「切」にし、再び「入」にしてください。

④ この取扱説明書の各項目をご確認の上、再び使用してみてください。

故障表示のうち、002・032・110・120・502・632 が点滅した場合は、次の項目「◆◆◆故障表示が 002・032・110・120・502・632 の場合」を参照の上、再度使用してみてください。

故障表示（つづき）

◆◆◆ 故障表示が 002・032・110・120・502・632 の場合

再度使用する際には、下記の点に注意してください。

故障表示	原因	処置
002	初めておふろ沸かし（試運転）をする際に、浴槽に残り湯があった。	試運転を行う前に、浴槽の残り湯はすべて排出しておいてください。
032	排水栓をしないで、自動運転をした。 断水していた。	断水をしていないか確認し、浴槽の排水栓を閉じてから自動運転をしてください。
110 120	機器本体にガスが供給されていない。	ガス栓が全開になっているか確認し、全開になっていない場合は、全開にしてください。 ガスメーターにあるマイコンメーターのランプが点滅していないか確認してください。点滅している場合は、マイコンメーターの取扱説明書を参照し、復帰させてください。 それでも、マイコンメーターのランプが点滅する、またはランプが消えている場合は、もよりのガス事業者（供給業者）へ修理を依頼してください。
502	機器本体に水が供給されない。	給水元栓が全開になっているか確認し、全開になっていない場合は、全開にしてください。 断水していないか確認し、断水している場合は、復帰するまでお待ちください。
632	おいだき運転時に、浴槽のお湯（水）が足りなかった。（全自動（フルオート）タイプで浴室リモコンのおいだきスイッチを押したとき以外）	浴槽の排水栓を閉じ、浴槽の水位が、循環アダプター上端から 5cm 以上高くなるようにお湯（水）を張ってから、追いだきしてください。
	おいだき運転時に、浴槽の排水栓が抜けていた。	
	循環アダプターのフィルター詰まりなど。	循環アダプターのフィルターを掃除し、正しく取り付けた上で、追いだきをしてください。

◆◆◆ 再使用しても、故障表示が点滅する場合は…

機器本体の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所に修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

故障表示 100 が点滅しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態です。

故障表示 921 が点滅しているときも、しばらくはお湯を使うことができますが、いずれ機器が使用できなくなります。

これらの表示に気が付いたらすぐにお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。

※リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、高い温度（約 45℃）のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

アフターサービスについて

アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

- まず 27 ～ 31 ページの「故障かな？と思ったら」と 32 ～ 34 ページの「故障表示」をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、漏電ブレーカーを抜いてから、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1　製品名・ガスの種類
  2　品名（銘板表示のもの）
  3　故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
  4　ご住所・お名前・電話番号・道順
  5　訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガス数種類および LP ガスの区分があります。
- ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- 裏表紙が保証書になっています。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品の保有期間は、BL 認定品については製造打ち切り後 10 年、その他の機器については 7 年です。
  BL 認定品には、製品の前面に下のうちいずれかの表示があります。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
- 別添の「リンナイ連絡先一覧表」を参照してください。

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に依託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

仕様

RUF-HE160A シリーズ

仕様表

分類名称		潜熱回収型全自動(フルオート)ガスふろ給湯器		
品名		RUF-HE160A RUF-HE160AK	RUF-HE160AC RUF-HE160ACK	RUF-HE160AL
型式名		HOL-E1600AQ	HOL-E1600AQ-C	HOL-E1600AQ-L
設置方式		壁貫通型		
外形寸法		高さ404×幅291×奥行579 (mm)	高さ404×幅291×奥行574 (mm)	
製品質量		23kg		
給湯能力 ※		16～2.9号		
最低作動水圧		10kPa(自動運転時39kPa)		
最低作動水量 ※※		2.7L/min		
希望水圧		78.5kPa～600kPa		
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)		
	消費電力 ※ (50/60Hz)	120W	130W	125W
		凍結予防ヒータ作動時134W		
	待機時消費電力 (50/60Hz)	BC-223VN-HOLまたはMBC-220V(A)-HOL設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.8W、セーブモード時:約0.9W、運転スイッチ「切」:約0.8W		
	点火方式	連続放電点火方式(ダイレクト方式)		
制御装置	ガス	ガス比例制御		
	水	水量比例制御		
電源コード長さ		AK・ACKタイプは8m、その他は6m		
安全装置		立消え安全装置・空だき安全装置・空だき防止装置・停電安全装置・ 過熱防止装置・漏電安全装置・過電流防止装置・過圧防止安全装置・ ファン回転検出装置・沸騰防止装置・中和器詰まり検知装置		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

※※給水温度が高いときには、最低作動水圧が 2.7L/min よりも多くなることがあります。

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	ふろ	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	36.7(31,600)	30.5(26,200)	※12.2(10,500)	16.0	10.0
12A	34.2(29,400)	28.4(24,500)	※11.4(9,800)	14.9	9.3
LPG	36.7(2.62kg/h)	30.5(2.18kg/h)	※12.2(0.87kg/h)	16.0	10.0

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

※ふろのガス消費量は最大値であり、平均値は 10.5kW（9,000kcal/h）程度となります。

仕様（つづき）

RUF-HE80SA シリーズ

仕様表

分類名称		潜熱回収型自動湯はり（オート）ガスふろ給湯器		
品名		RUF-HE80SA	RUF-HE80SAC	RUF-HE80SAL
型式名		HOL-E800SA	HOL-E800SA-C	HOL-E800SA-L
設置方式		壁貫通型		
外形寸法		高さ404×幅291×奥行579 (mm)	高さ404×幅291×奥行574 (mm)	
製品質量		23kg		
給湯能力 ※		16～2.9号		
最低作動水圧		10kPa（自動運転時39kPa）		
最低作動水量 ※※		2.7L/min		
希望水圧		78.5kPa～600kPa		
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)		
	消費電力 ※ (50/60Hz)	110W		
		凍結予防ヒータ作動時134W		
	待機時消費電力 (50/60Hz)	BC-223VN-HOLまたはMBC-220V（A）-HOL設置時／運転スイッチ「入」：約2.8W、セーブモード時：約0.9W、運転スイッチ「切」：約0.8W		
	点火方式	連続放電点火方式（ダイレクト方式）		
制御装置	ガス	ガス比例制御		
	水	水量比例制御		
電源コード長さ		6m		
安全装置		立消え安全装置・空だき安全装置・空だき防止装置・停電安全装置・過熱防止装置・漏電安全装置・過電流防止装置・過圧防止安全装置・ファン回転検出装置・沸騰防止装置・中和器詰まり検知装置		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
※※給水温度が高いときには、最低作動水圧が 2.7L/min よりも多くなることがあります。

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	ふろ	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	26.2(22,500)	15.7(13,500)	※12.2(10,500)	8.2	5.1
12A	24.4(21,000)	14.6(12,600)	※11.4(9,800)	7.6	4.8
LPG	26.2(1.87kg/h)	15.7(1.12kg/h)	※12.2(0.87kg/h)	8.2	5.1

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

※ふろのガス消費量は最大値であり、平均値は 10.5kW（9,000kcal/h）程度となります。

用語集

あ

追いだき（おいだき）
浴槽に張ってあるお湯を循環アダプターから機器本体内に取り入れ、機器本体の中で加熱し、再度浴槽に戻すことで浴槽のお湯をあつくしていくこと。

か

給水栓（きゅうすいせん）
シャワー金具の給水側部分、水栓、およびそれらの水の出し・止め・流量の調節をするハンドル（つまみ）を指します。

給湯温度（きゅうとうおんど）
機器から供給するお湯の温度。

給湯栓（きゅうとうせん）
シャワー金具の給湯側部分、給湯配管先の水栓、およびその水栓のお湯の出し・止め・湯量調節をするハンドル（つまみ）の両方を指します。

給湯配管（きゅうとうはいかん）
浴室以外の場所（台所や洗面所など）の水栓に、機器本体の給湯接続口より配管することでお湯を供給すること。またはその配管を指します。

混合水栓（こんごうすいせん）
機器本体で作られるお湯と水を混ぜることでお湯の温度を調節できる水栓。
2 バルブ式、シングルレバー式、サーモスタット式があります。

2バルブ式
混合水栓

シングルレバー式
混合水栓
ハンドルを回して、お湯と水の割合を調節します。

サーモスタット式
混合水栓
お湯と水の割合を、自動的に調節します。

さ

自動湯はり（じどうゆはり）
機器が自動運転で設定量の湯を湯はりし、設定温度に沸かすことを指します。

循環アダプター（じゅんかんあだぷたー）
浴槽の側面に取り付けられています。自動運転で湯はりをする際には、ここから浴槽に注湯されます。

潜熱回収型（せんねつかいしゅうがた）
本書では、燃焼排ガス中の水蒸気が水になるときに発生する熱（潜熱）も利用（回収）するための装置を持つ機器を潜熱回収型の機器と呼びます。

た

単水栓（たんすいせん）
機器本体で作られるお湯のみ、または水のみが出る水栓。

は

ふろ温度（ふろおんど）
自動運転でおふろを沸かすときの設定温度。
※給湯温度とふろ温度は別々に設定できます。

ふろ水位（ふろすいい）
全自動（フルオート）タイプの機器で、自動運転でおふろを沸かすときの設定水位。

ふろ湯量（ふろゆりょう）
自動湯はり（オート）タイプの機器で、自動運転でおふろを沸かすときの設定湯量。

や

湯はり（ゆはり）
本書では、機器が循環アダプターからお湯を出し、浴槽にお湯をためることを指します。

湯量（ゆりょう）
給湯での湯量 ―― この説明書では、給湯配管先の水栓から出されるお湯の流量（出具合）を指します。
自動運転での湯量 ―― ふろ水位・ふろ設定水位・ふろ湯量と同じ意味です。

Safety Precautions

In this manual, the degree of potential danger, injury, and damage as a result of improper operation is indicated by the classifications below. Picture symbols are used to convey safety information in order to prevent danger and injury to the customer and others and damage to property. These picture symbols are described below. Be sure that you fully understand their meanings before using the heater/drier.

⚠ DANGER	Performing operation improperly without following this safety information presents an imminent danger of death, serious injury, or fire.
⚠ WARNING	Performing operation improperly without following this safety information can potentially result in death, serious injury, or fire.
⚠ CAUTION	Performing operation improperly without following this safety information could possibly result in injury or property damage only.
NOTICE	This indicates information that should be understood for using this device safely and comfortably.

Meanings of picture symbols

General Safety Warnings and Precautions

Caution Hot Surface

Electric Shock Hazard

General Prohibitions

Do Not Touch

Prohibited when Hands are Wet

Disassembly Prohibited

Safety Requirements

Connect Ground Wire

⚠ DANGER

In the Event of a Gas Leak

- Immediately stop using the unit, close the main gas valve, open your doors and windows, and then contact your nearest gas company office (gas supplier).

Safety Requirements

Example of main gas valve

Stop usage, and close the main gas valve.

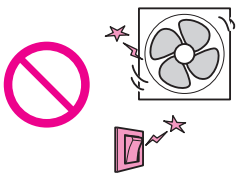
Open the windows.

Contact your nearest gas company office (gas supplier).

- Until the problem is resolved by Tokyo Gas service staff, do not switch on/off or plug/unplug electrical devices (such as ventilation fans), not use matches, lighters, or other open flames under any circumstances. Also, do not use telephones in the immediate area.
  A flame or spark could ignite, resulting in an explosion.

Do not use an open flame or plug/unplug electrical devices.

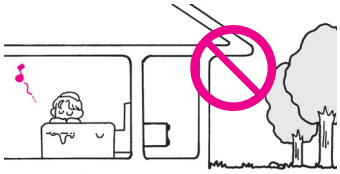
Do not switch electrical devices (such as ventilation fans) on or off.



Do not use telephones in areas where you smell gas.

⚠ DANGER

Do Not Install Indoors

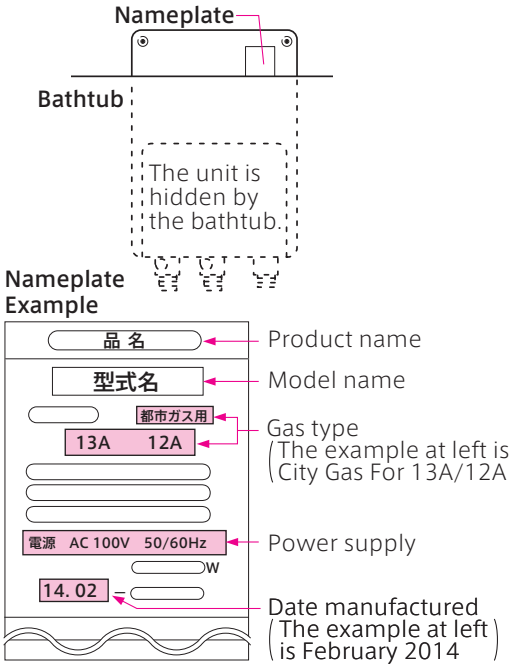


- This is a wall-through type unit. Do not install indoors. Also, make sure that the supply duct and exhaust duct extend to the outside of a wall facing outdoors. Otherwise, proper supply and exhaust may not be possible, leading to abnormal combustion, or combustion exhaust gas may accumulate indoors and result in carbon monoxide poisoning.

⚠ WARNING

Check the Gas Type and Power Supply

- A nameplate is attached on the front of the unit at the position shown in the figure below.
- Check the gas type (gas group) and power supply (voltage and frequency) that are displayed on the nameplate. Do not use a gas type or power supply other than those displayed on the nameplate.
  Use of a different gas type or power supply can cause an explosion or cause incomplete combustion, leading to carbon monoxide poisoning, fire, or damage to the unit.
  不明な点はお買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。
  If moving the unit to another location, please consult with your dealer or the gas supplier at your new location.

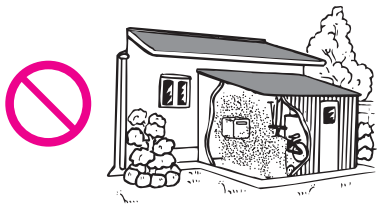


Use of Ignitable Objects Is Prohibited Spray Cans Are Strictly Prohibited

- Do not place or use ignitable liquids (such as gasoline, benzine, and kerosene) or sprays in the vicinity of the unit, exhaust duct or exhaust tube vent.
  These substances can ignite and cause a fire.
- Do not place spray cans, cylinders for portable butane stoves or other such items in the vicinity of the unit, exhaust duct or exhaust tube vent.
  Heat can build up pressure within the spray can, causing it to explode.

Do Not Enclose the Unit

- Do not locate the exhaust duct or exhaust tube vent indoors when undergoing a home extension or renovation, or surround these items with vinyl, corrugated panels, or other objects.
  Doing so may result in incomplete combustion or carbon monoxide poisoning and is extremely dangerous.



Do Not Use when the Exhaust Duct Is Covered with a Sheet

- In certain situations, the exhaust duct or exhaust tube vent may be covered with a sheet, such as when painting walls, building extensions or performing reconstruction work or house repairs. In such cases, do not use the unit.
  Doing so can cause incomplete combustion and carbon monoxide poisoning.

Work Must Be Performed by a Qualified Professional

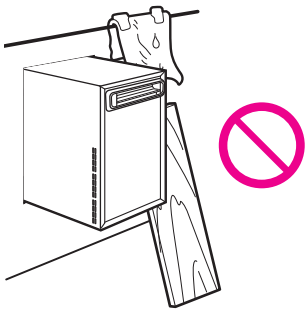
- Installation, moving, and incidental work for this unit requires special qualifications and expertise. Be sure to request the dealer from whom you purchased this product to perform the work.

Safety Precautions(continued)

⚠ WARNING

Use Caution around Flammable Materials

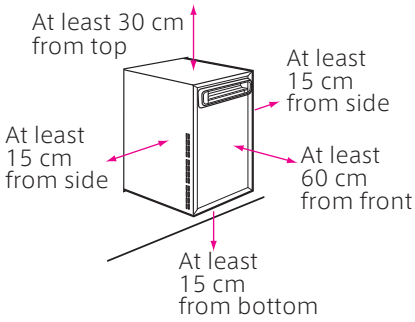
- Do not place flammable objects (wood materials, paper, or laundry) near the unit, exhaust duct or exhaust tube vent.
  Doing so may result in a fire or other accident.



- Always provide the clearance distances below between surrounding objects and the unit, exhaust duct and exhaust tube vent.

Safety Requirements

Clearance distance

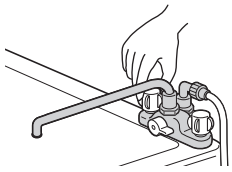


In the Event of an Emergency During Earthquakes, Fires, and Other Emergencies

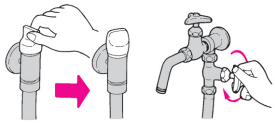
- 機器の異常（排気口や排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。

①Set the operation switch to "OFF."

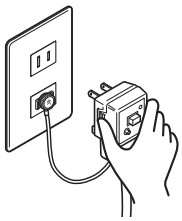
②Close the hot water supply valve.



③Close the gas valve and main water supply valve.



④Unplug the ground fault circuit interrupter from the outlet.



- The same action should be taken in the event of an earthquake, fire, or other emergency.

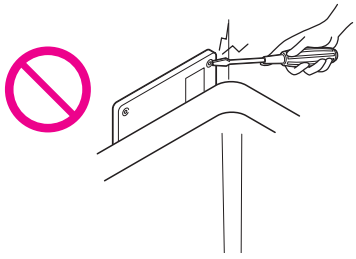
* This is not the action that should be taken in the event of a gas leak. If you notice a gas leak, see

P39 "In the Event of a Gas Leak"

Do Not Modify or Disassemble

- Never attempt to modify or disassemble the unit. Modification and disassembly can result in damage to the unit, carbon monoxide poisoning, or other accidents.

Disassemble Prohibited



⚠ WARNING

When Taking a Bath

- Do not submerge yourself in the bath tub. An accident can occur.

Gas Connections

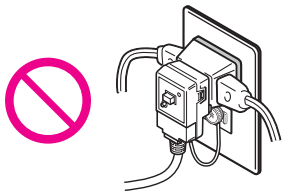
- The gas connections for this unit use screw-in connections.
  To connect the gas, please contact the dealer where you purchased the product or your nearest gas company office (gas supplier).

Children

- Do not allow children to play in the bathroom.
  In particular, if there is water in the bath, such as when heating the bath water, drowning or other accidents can occur.
- Do not allow children to take baths or use the hot water by themselves. Doing so may result in an accident.
  Doing so may result in an accident.
- Be careful that children do not go underwater in the bathtub.
  Doing so may result in an accident.

Do Not Exceed the Allowable Power

- If the rated power of the outlet or wiring equipment is exceeded, or if the rated power is exceeded due to an overload of the electrical line, a fire can occur due to overheating.



Using the Priority Switch (For Homes with Two Remote Controls Installed)

Safety Requirements

- If using the priority switch, make sure that no one else is using the bathwater.
  When the priority is switched and the temperature is changed, hot water can unexpectedly flow out, resulting in burns, or cold water can unexpectedly come flow out, resulting in an accident.
- After switching the priority, be sure to always check the hot water temperature setting on the remote control. The temperature may have been changed.

Do Not Use When Going Out or After Going to Bed

- Do not go to bed or go out while water is being supplied.
  This can lead to an accident.

Connecting with Other Devices

- This unit is unable to be connected with a solar water heater.
  Use of incompatible products can cause accidental burns due to hot water.

Be Careful of Burns When Entering the Bath

- Be sure to always check the temperature of the bath water with your hand before entering the bath.
- When reheating water, the circulation adapter can become hot and hot water will come out from the circulation adapter, so be careful not to place your hand or body too close to it.

Caution Hot Surface

Safety Requirements

Bath Lid

- Do not climb on or lean your hands on the bath lid.
  The lid can open up, resulting in a burn, drowning, or other accident.

Safety Precautions(continued)

⚠ WARNING

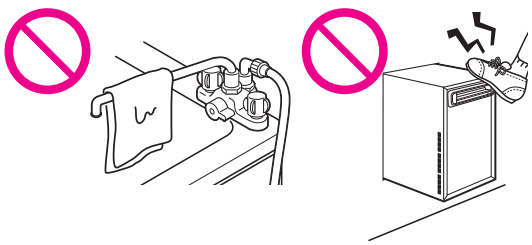
Be Careful of Burns when Using Hot Water

Safety Requirements

- When using hot water, check the hot water temperature indicator, and be sure to check the temperature stability of the water with your hand before use.
- Note that hot water can suddenly come out in the following cases, and so do not use the initial hot water on your body.
  Do not let small children in particular use the hot water by themselves.
  * When the hot water is stopped and then used again
  * Immediately after extremely hot water is used
  * When the flow rate of the hot water drops suddenly
  * When trying to use an extremely small amount of hot water during periods When the water temperature is high, such as during summer months.
  * When the water supply pressure changes such as when toilet water is flowing
- When using the shower or hot water, the hot water temperature should not be changed by anyone other than the user. Doing so could cause hot or cold water to come out suddenly, resulting in a burn or accident.
- If the flow of hot water level is set to too low with the hot water valve, hot water can come out in spurts.
  Even if the hot water temperature is low, scalding water can come out if a small amount of hot water is used, particularly when the temperature of the cold water is high.
- When using the hot water, the shower fixtures and water valves can become hot, and so be careful that you do not get burned.

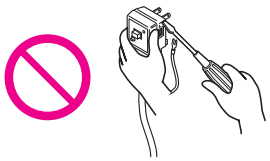
Do Not Apply Excessive Force

- Do not sit, stand or place heavy objects on top of the unit or incidental facilities such as the exhaust tube vent or gas pipes.
  Doing so may result in injury, gas leaks, incomplete combustion, damage or breakdown.
- Do not place your weight on or hang a towel over the water outlet pipe of the shower fixture.
  Doing so may result in injury or breakdown.

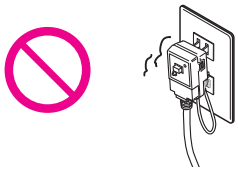


Preventing Electrical Accidents

- Do not modify or apply excessive force to the ground fault circuit interrupter or the power cord. Doing so may result in electric shock, short-circuit or fire.



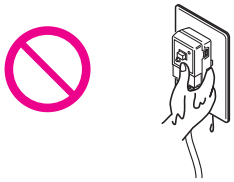
- Insert the ground fault circuit interrupter firmly into the outlet. Failure to do so may result in electric shock or fire.



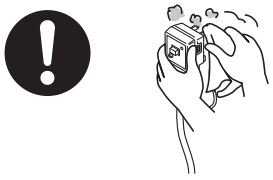
- Do not use a damaged ground fault circuit interrupter or power cord.

- Do not touch the ground fault circuit interrupter with wet hands. Doing so may result in electric shock.

Prohibited when Hands are Wet



- Use a dry cloth and wipe away any dust that may have adhered on or around the prongs of the ground fault circuit interrupter. Failure to do so may result in fire.



Grounding Required

- This unit requires grounding, so make sure that the ground wire is connected to a ground terminal. Otherwise, an electric shock can occur in the event of a breakdown or electrical leakage. When there is no ground terminal, the ground must be installed by a qualified technician. Please contact your dealer for ground installation.

Connect Ground Wire

⚠ CAUTION

Beware of Icicles

- In the winter months in particular, do not stand under the exhaust duct or exhaust tube vent. The water from melted snow and moisture from the exhaust can freeze and form icicles, and these can fall and cause an injury.

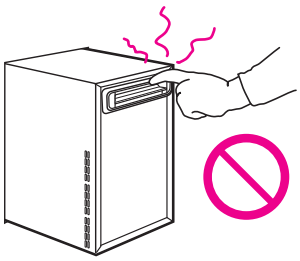
When Mixing Hot Water and Cold Water

- To prevent burns, when using hot water, first open the cold water valve, and then open the hot water valve. When stopping hot water, first close the hot water valve, and then close the cold water valve.

Be Careful of Burns at Exhaust Duct, and Exhaust Tube Vent

- During operation and immediately after operation, the area around the exhaust duct and exhaust tube vent can be very hot. Do not touch these areas.

Do Not Touch



Close the Bathroom Window during Operation

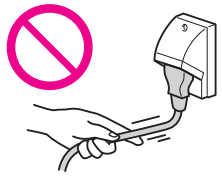
- Combustion exhaust gas from the exhaust duct may flow into the bathroom through the bathroom window or other opening and result in an accident.

Do Not Insert Your Finger into the Water Outlet Pipe

- Do not insert your finger into the tip of the water outlet pipe.
  Doing so may result in injury.

Do Not Unplug the Power Cord by Pulling on the Cord

- Do not unplug the ground fault circuit interrupter by pulling on the power cord. Doing so can damage the cord and cause it to become hot or result in fire.



Applications

- Do not use this unit for applications other than heating water for the kitchen, sink, and bathroom, for showers, and for filling the bathtub.
  Use for other applications can result in an accident.
- Do not attach a hose to the water outlet pipe.
  Doing so may result in damage to the unit.

Do Not Insert Your Fingers or Rod-like Objects into the Supply Duct, Exhaust Duct or Exhaust Tube Vent

- Do not insert your fingers or rod-like objects into the supply duct, exhaust duct or exhaust tube vent.
  Doing so may result in injury or breakdown.

Disposing of the Unit (Note about Dry-cell Batteries)

- When replacing the unit, please request disposal of the old unit from a commercial disposal company.
  If you will dispose of the unit yourself, please remove any dry-cell batteries that were used in the unit, and then dispose of it properly.

Bath Powders and Cleansers

- Do not use bath powders or cleansers that contain sulfur, acids, alkalines, or salts, or bath powders that leave sediment.
  These substances may result in corrosion or breakdown of the heat exchanger.
  If you notice anything unusual, immediately stop operation of the unit.
- Do not use bath powders that form bubbles.
  Use of this type of bath powders can harm the water circulation and prevent heating of the bath water.
- If a chlorine-based cleanser, acidic bathroom cleanser, chlorine-based or acidic deodorizer, salts, or similar substances are splashed on the unit, gas pipes, or other parts, immediately wash them off completely with water. Otherwise, an accident can occur.
- arefully read the safety information of the bath powder or cleanser before using it.

Safety Precautions(continued)

NOTICE

Coloring Due to Water

- When using new water supply pipes and for certain water qualities, a small amount of copper ions dissolve in the water, generating blue compounds, and the bathtub, towels, and other objects may develop a blue tinge. This has no adverse effect on health, and so such stained articles may be washed off with a neutral cleanser and rinse thoroughly to prevent the color from adhering.

In the Event of Water Stoppage

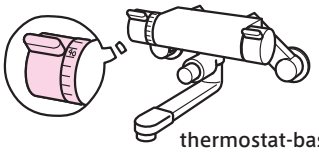
- The unit cannot be used when the water supply is stopped (reheating the water is also not available). If the water supply is stopped during operation, the unit will stop.
- Be aware, however, that if the hot water valve and cold water valve are left open, water will start flowing as soon as the supply of water is restored.
- In some cases, an error indicator may be displayed. Change "Operation" from OFF to ON again, and wait until the supply of water is restored.
- When the supply of water is restored, do not use the water that first comes out, and allow the water to flow fully before using.
  The water in the pipes when the water is stopped may not be suitable for drinking or cooking.

In the Event of a Power Outage

- The unit cannot be used when the power is out. If operation is in progress, it stops when the power goes out.
- Be aware that if a power outage occurs while supplying hot water, the hot water will turn cold.
- When the power is restored, the current time may not be displayed, and the hot water temperature setting may have changed. Check the display, and adjust the settings if necessary.
- If there is a danger of freezing, such as during the winter months, drain the water.
  In a power outage, the anti-freezing heater no longer function, and water can freeze inside the unit under normal cold temperatures, resulting in a breakdown of the unit or a water leak.

Water Valves

- There are many different types of water valves. For more information, see the operation manual for the respective water valve.
- Do not use foam valves in regions with low water pressure. The hot water temperature can be unstable.
- If using thermostat-based water valves, set the hot water temperature shown on the remote control higher than the desired temperature (handle temperature).



thermostat-based water valves

Do Not Turn Off

- Do not unplug the ground fault circuit interrupter from the outlet or turn off the dedicated breaker on the distribution board other than when not using the unit for an extended period of time.
  In the winter months in particular, if the power is turned off, the anti-freezing heater will no longer function, which may result in freezing or breakdown.

Do Not Cover the Circulation Adapter with a Towel.

- Do not cover the circulation adapter of the bathtub with a towel or other object.
  Poor circulation will prevent heating of the bathwater.
- Do not use towels inside the bathtub, or wash clothes or pets inside the tub.
  The hair and lint will be sucked in and can cause the unit to break down.

NOTICE

In the Event of Lightning

- In the event of lightning, stop the unit immediately and unplug the ground fault circuit interrupter from the outlet.
  Momentary overcurrent due to lightning may damage the electronic components.
- Do not touch the ground fault circuit interrupter with wet hands. Doing so may result in electric shock. Wait until you are sure that the lightning has passed, then make sure that the ground fault circuit interrupter is dry and insert it firmly into the outlet.

Prohibited when Hands are Wet

- After inserting the ground fault circuit interrupter into the outlet, reset the current time and the temperature setting.

During Winter Months and When Not Using for Extended Period of Time

- Please contact your dealer or a Tokyo Gas customer representative for service.

Do Not Use Non-approved Add-on Products

- Do not use non-approved add-on products with this unit. Doing so could lead to an accident or breakdown of the unit.

Do Not Open the Hot Water Valve When Operation is OFF

- Do not open the hot water valve when the operation switch is set to OFF. To use cold water, set the mixed water valve to the "WATER" position. If cold water flows in the pipes of the unit with cold water in the "HOT WATER" position, condensation forms inside the unit, which can shorten its service life.

* This restriction does not apply when water is flowed constantly to prevent freezing.

Check of Flame On and Flame Off

- Use the indicator on the remote control to check that the flame is on during operation and flame is off after operation.

Intended as a General Household Product

- Frequent usage of this unit, such as for a business, can shorten the service life.

Exhaust Duct Blockage by Accumulated Snowfall

- Be careful that accumulated snowfall or snow fallen from the roof does not cover the supply duct, exhaust duct or exhaust tube vent. Be sure to inspect and remove any accumulated snow after snowfall.
  If the supply duct, exhaust duct or exhaust tube vent become covered with snow, this may result in breakdown.

Use in Japan Only

- Do not install and use this unit outside of Japan. Doing so can result in an accident. If this happens, we will not be liable for any damages.

Using the Shower

- Do not leave the shower head submerged in the bathtub, sink, or washbowl.
  If the water pressure becomes low due to a water stoppage, water can backflow into the unit and cause an accident.

Using the Remote Control

- The kitchen remote control is not waterproof. The bathroom remote control is waterproof, but do not intentionally splash it with water. Doing so can cause it to break.
- Do not allow children to play with the remote control.
- Be careful that the remote control does not come into contact with steam or hot air from rice cookers, electric pots, and other appliances. This can cause it to break.
- Do not disassemble the remote control or use it recklessly. Doing so can cause it to break.

Keep the Remote Control away from TVs and Radios

- Keep the remote control and remote control wires at least 1 meter away from TVs and radios. The remote control can interfere with video and audio reception.

Safety Precautions(continued)

NOTICE

Combustion Gas

- Do not place objects that should not be heated or that could be adversely affected by heat, such as houseplants and pets, near the exhaust duct or exhaust tube vent.
- Ensure that the combustion gas does not directly contact the building walls, windows, glass, screen doors, aluminum sashes or other parts from a home extension or renovation. This can result in discoloration, damage, or corrosion of these parts.

Stopping Operation

- While operating the unit, do not turn off the gas valve to shut off the flame.
- While operating the unit, do not unplug the ground fault circuit interrupter from the outlet to shut off the flame.

温泉水や地下水や井戸水で使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合がありますので接続しないでください。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。

Using for Drinking or Cooking

- Do not use the water that comes out first in the morning or water that has remained stagnant in the unit for an extended period of time for cooking or drinking water. Instead, use it for washing water.

Cleaning

- Wait until the unit has cooled down before performing any cleaning.
- Use care to ensure that an injury does not occur when cleaning.
  To clean the unit and remote control, use neutral kitchen cleansers (for washing dishes and vegetables). Do not use other types of cleansers or scouring powders, thinner, benzine, ethanol, or scrubbing brushes or other hard objects. Using these substances can remove or scratch the glossy surface, printing, and text.
- Clean the bathtub and sink thoroughly for maximum cleanliness.

Check of Unit Installation State

- 下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所に連絡し、設置場所を変更してください。
  (1) Is the unit installed horizontally (at the correct angle)?
  (2) Are the supply and exhaust sections (supply duct and exhaust duct, exhaust tube vent, etc.) of the unit located away from the outlets and inlets of the cooler, heater, and ventilation fans? If not, combustion may not be performed normally.
  (3) Is the unit installed away from shelves and other locations where objects can fall on it?
  (4) Is the unit installed in an easily accessible location for maintenance? If not, service staff may decline to perform maintenance on the unit.
  (5) Does snowfall accumulate on the exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent, or is the exhaust duct covered by snow fallen from the roof? This can result in incomplete combustion.

Note when Undergoing a Home Extension or Renovation

- 機器や排気筒トップの周囲に塀など設ける場合は、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所へご相談ください。
  The shape and size of the wall or other structure and its distance from the unit and exhaust tube vent can prevent the unit from performing combustion properly.
  Space is also needed to access the front of the unit when conducting inspection and repair work.

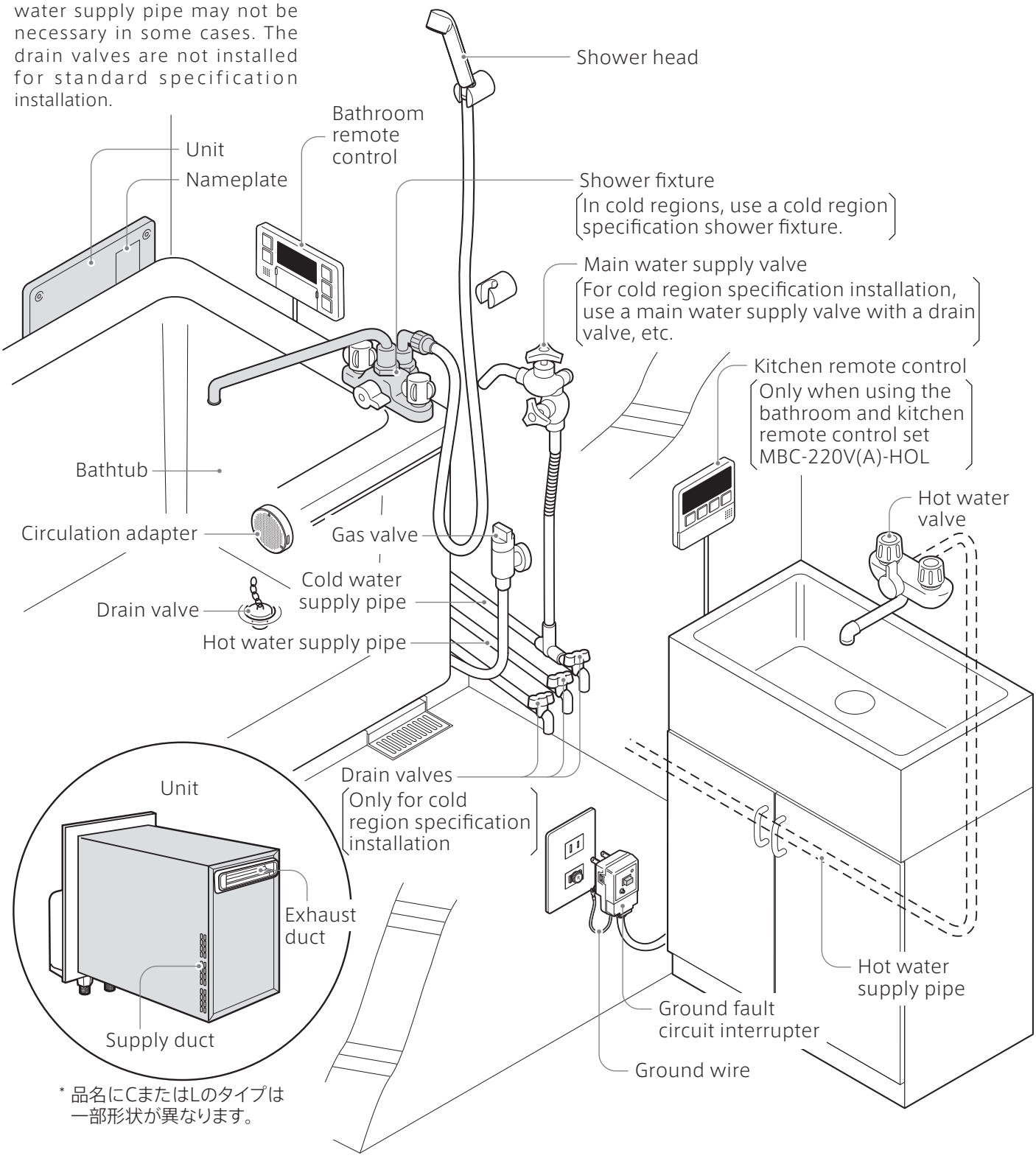
Names of Parts

Hint

This illustration shows an example of installation using the shower fixture (sold separately) and cold region specifications with a hot water supply pipe outside the bathroom. The hot water supply pipe may not be necessary in some cases. The drain valves are not installed for standard specification installation.

Check the name of each part of the unit and the installation locations of the unit and the remote controls.

Unit and Hot Water Facilities

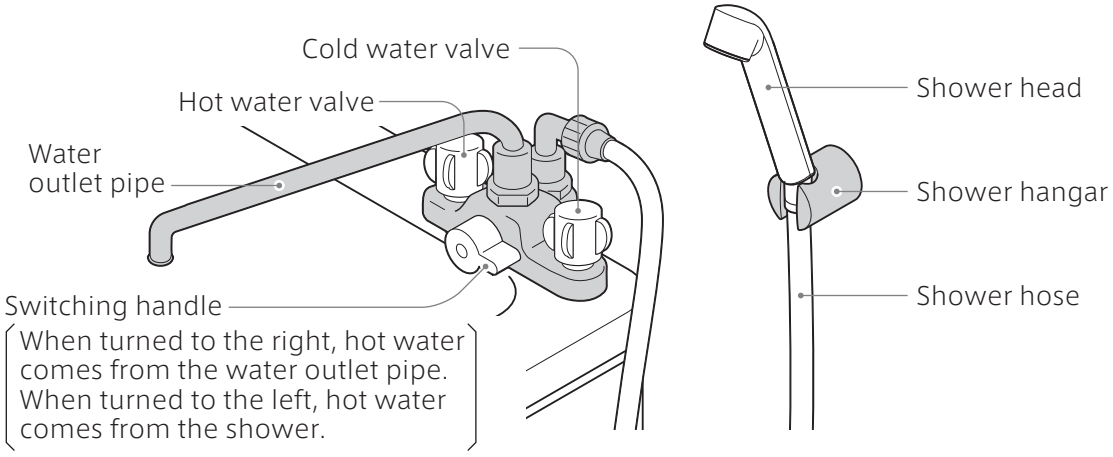


＊ 品名にCまたはLのタイプは一部形状が異なります。

Names of Parts (continued)

Check the name of each part of the shower fixture.
When using a commercially available water valve, refer to the operation manual supplied with that water valve.

Shower Fixture



■ How to Use the Shower Fixture (Starting and Stopping Hot (Cold) Water)

①Turn the switching handle to select the hot (cold) water destination (water outlet pipe or shower). (Turn the handle to the right for the water outlet pipe or to the left for the shower.)
②For hot water, turn the hot water valve counter-clockwise. For cold water, turn the cold water valve counter-clockwise. The hot (cold) water flows from the water outlet pipe (or the shower).
③Use the hot (cold) water.
④When you are finished using the hot (cold) water, turn the hot water valve (cold water valve) clockwise to stop the hot (cold) water.

* Be sure to always check the hot water destination when using hot water. Hot water flowing out from an unexpected location may result in burns or an accident.
* When the water supply pressure is low and sufficient hot water cannot be obtained, it is recommended to use a mixture of hot water and cold water. In this case, set the hot water temperature to 60° C and open the hot water valve nearly all the way.
* When using a mixture of hot water and cold water, be sure to always start the cold water first and then open the hot water valve to start the hot water. If the hot water is started first, extremely hot water may flow out and result in burns or an accident.

General Safety Warnings and Precautions

NOTICE

Do Not Open the Hot Water Valve when Operation is OFF

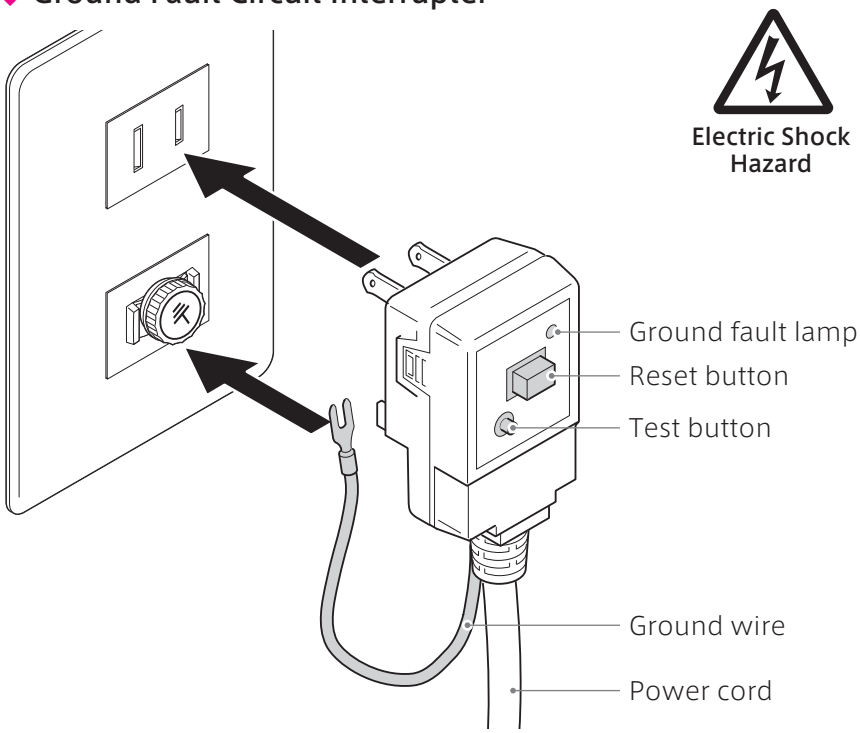
- To use cold water, be sure to set the mixed water valve to the "WATER" position, or open the cold water valve of the shower fixture. If cold water flows in the pipes of the unit with the remote control operation switch set to "OFF" and the mixed water valve in the "HOT WATER" position, or with the hot water valve of the shower fixture open, condensation forms inside the unit, which can shorten its service life.

Check the name of each part of the ground fault circuit interrupter.

Hint

Handle with care to prevent electric shock accidents.

Ground Fault Circuit Interrupter



■ Check Operation.

- To ensure safety, check the operation of the ground fault circuit interrupter supplied with the unit approximately once per month.

① Check that the ground fault circuit interrupter is plugged firmly into the outlet.

② Press the test button. If the ground fault lamp lights up, operation is normal.

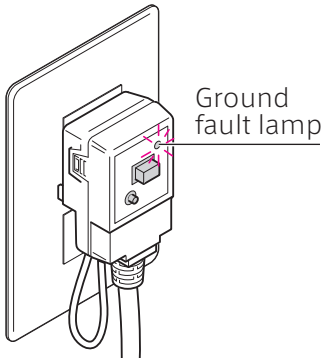
③ Press the reset button to end the operation check. The ground fault lamp turns off.

⚠ CAUTION

If the Ground Fault Lamp Lights Up

- If you do not notice anything unusual about the unit, press the reset button of the ground fault circuit interrupter.
- If the unit is submerged, clean the drain or otherwise remove the cause of the submergence, wait for the water to drain, and then press the reset button of the ground fault circuit interrupter.

上記の操作をしてもなおも漏電ランプが点灯するようであれば、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にお問い合わせください。



品名： 全自動（フルオート）タイプ　RUF-HE160A　RUF-HE160AC　RUF-HE160AL
RUF-HE160AK　RUF-HE160ACK
自動湯はり（オート）タイプ　RUF-HE80SA　RUF-HE80SAC　RUF-HE80SAL

リンナイ　ガスふろ給湯器　保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から 2 年間（熱交換器は 3 年間）とし、機器本体とリモコンを対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にご相談ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
   (ニ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (ホ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書の提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
   (チ) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
   (リ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
   (ヌ) ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にお問合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは 35 ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	
	ご住所		住所	扱者印
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		電話番号	

修理記録
この機器の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に付属の故障診断シートに記録します。

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社
〒 454-0802　名古屋市中川区福住町 2 番 26 号
TEL　代表 052（361）8211

見本

連絡先
本　　社 ☎052(361)8211 〒454-0802 名古屋市中川区福住町 2 番 26 号
関東支社 ☎03(3471)9047 〒140-0002 東京都品川区東品川 1 － 6 － 6
東京支店 ☎03(3471)9047 〒140-0002 東京都品川区東品川 1 － 6 － 6
北関東支店 ☎048(667)4321 〒331-0811 さいたま市北区吉野町 1 丁目 396 － 1
東関東支店 ☎043(273)3360 〒261-0026 千葉市美浜区幕張西 2 丁目 7 － 1
南関東支店 ☎045(320)3051 〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町 4 番 10 号
東北支社 ☎022(288)3251 〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通 20 － 1
北海道支店 ☎011(281)2506 〒060-0031 札幌市中央区北一条東 2 丁目
新潟支店 ☎025(247)6610 〒950-0864 新潟市東区紫竹 2 丁目 1 － 74
中部支社 ☎052(363)8001 〒454-0802 名古屋市中川区福住町 2 番 26 号
関西支社 ☎06(6786)3612 〒550-0014 大阪市西区北堀江 3 丁目 10 番 21 号
中国支店 ☎082(277)5131 〒733-0833 広島市西区商工センター 4 丁目 2 － 1
四国支店 ☎087(821)8055 〒760-0066 高松市福岡町 2 丁目 11 番 6 号
九州支社 ☎092(281)3234 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町 2 番 3 号

VEGETABLE OIL INK
Printing. Naturally.
この取扱説明書は地球環境に配慮し、植物油インキ（非石油系）を使用し、水なし印刷にて印刷されています。